



千葉県立美術館 年報 No.38 平成23年度

April 2011 – March 2012

Annual Bulletin of Chiba Prefectural Museum of Art

目 次

あいさつ	1
沿革	2
平成23年度主要記事	4
展示事業	
1 アート・コレクション展	6
2 特別企画展・企画展	13
3 第35回千葉県移動美術館	17
4 東日本大震災記録写真展	18
普及事業	
1 特別企画展・企画展関連事業	20
2 ワークショップ	21
3 実技講座	22
4 ミュージアムコンサート	23
5 博学連携事業	24
6 地域連携事業	25
7 活動協力など	26
調査・収集活動	
1 貸出資料一覧	28
2 新収蔵資料一覧	29
3 収蔵資料数一覧	29
管理運営	
1 組織	31
2 職員	31
3 利用状況	32
4 団体展一覧	33
5 施設	35
利用案内	39

あ い さ つ

千葉県立美術館は、昭和49年の開館以来、地域美術館及び近代美術館としての活動を通し、県民の皆様のさまざまな美術に対する要望にお応えできるよう活動しております。この度、平成23年度の本館における活動の実績をとりまとめた年報を刊行するはこびとなりました。

平成23年度の展覧会では、特別企画展として「一放浪の天才画家―山下清展」を開催し、ひとつの企画展としては開館以来最も多くの皆様にご覧いただいたほか、企画展「関主税展―夢幻世界を描き続けた日本画家―」を開催し、好評を博しました。また、35回目となる移動美術館については流山市郷土博物館を会場に開催し、日本赤十字社千葉県支部と共働して「東日本大震災記録写真展～赤十字の救護・救援活動の記録」を開催しました。

本館が収蔵する作品の展示については、種々のテーマに基づいた収蔵作品による「アート・コレクション展」を年間を通して開催しました。

このほか、美術についての理解を深め、作品鑑賞の一助とするため、展覧会に関連した美術講演会やギャラリートークを開催しました。

さらに、子どもたちに創作の喜びや美術館活動に対する理解を深めてもらうため「ワークショップ」、「美術館体験学習」、「おもしろ鑑賞教室」などを実施したほか、学校での出前授業として「出張鑑賞教室」にも取り組みました。また、県民の皆様の創作意欲にお応えできるよう、「洋画」や「日本画」のほか、「陶芸」、「金工」、「篆刻」、「コラグラフ」、「シルバークレイ」各分野にわたる実技講座も実施しました。

作品収集にあたりましては、収集基本方針に基づき、作家や所蔵家の方々の協力を得ながら、コレクションの体系化とその充実を図りました。

今後とも、関係諸機関や各団体をはじめ、県民の皆様方の御支援、御指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月

千葉県立美術館長

中 里 文 男

■ 沿 革

1969年12月9日	第1回千葉県立美術館建設懇談会を開催（委員15名）	1978年11月18日	浅井忠像完成除幕式
1970年1月19日	県立美術館建設の請願書が2月県議会で採決	1978年11月30日	美術普及棟実施設計完了
1970年7月24日	建設地として千葉公園に内定	1979年1月8日	美術普及棟を県民アトリエ棟と改称
1970年11月12日	第1回美術館設置準備専門委員会を開催（委員10名）	1979年3月5日	県民アトリエ棟建築工事請負契約議案可決
1971年3月31日	千葉公園内の美術館基本構想成立	1979年3月22日	県民アトリエ棟建築工事着工 （監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）
1971年6月24日	体育館移転問題等で千葉公園内建設が不可能となる代案として千葉市中央港埋立地を提示	1980年2月29日	県民アトリエ棟竣工
1972年1月5日	建設地を千葉市中央港の埋立地に決定し、使用について開発庁長と教育長で覚書を交換	1980年3月16日	県民アトリエ棟完成記念講演会
1972年3月31日	基本設計完了（株式会社大高建築設計事務所）	1980年4月1日	千葉県美術品取得基金条例施行
1972年7月31日	展示棟第1期工事の実施設計完了	1980年9月9日	県民アトリエ棟情報資料室開設
1972年9月21日	展示棟杭打工事着工	1983年7月29日	美術普及コーナー開設
1972年10月13日	展示棟建築工事請負契約議案可決	1983年11月12日	開館10周年と県展開催35周年を記念した記念碑建立
1972年12月10日	展示棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）	1986年3月25日	展示棟、収蔵庫、機械室増築工事設計予算化
1973年4月1日	文化課に美術館準備班を置き、開館事務開始	1986年4月10日	入口門扉4ヶ所設置
1973年11月30日	管理棟（第2期工事）の実施設計完了	1986年4月23日	美術館西側沿道寄り生垣植栽
1974年3月31日	展示棟竣工	1986年8月12日	講堂浸水防止工事完了
1974年4月1日	千葉県立美術館発足（職員14名）	1987年3月25日	機械室増築基本設計及び展示棟、収蔵庫、機械室増築工事実施設計完了
1974年10月23日	開館記念式典開催	1987年10月15日	展示棟、収蔵庫、機械室増築工事着工 （監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）
1974年10月24日	開館記念展「千葉県美術展覧会」開催一般公開開始	1988年5月20日	受水槽設備改修工事（地上式）着工
1975年2月21日	管理棟杭打工事着工	1988年8月31日	受水槽設備改修工事（地上式）完了
1975年3月13日	管理棟建築工事請負契約議案可決	1988年8月31日	展示棟（第8展示室）、収蔵庫（第3、4室）、機械室増築工事完了
1975年3月16日	管理棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）	1989年2月28日	増築展示棟周辺芝張り工事完了
1976年2月20日	管理棟竣工	1989年4月1日	普及課が新設され、3課で業務実施
1976年3月2日	管理棟完成記念特別展「浅井忠とその師弟展」を開催	1989年4月20日	開館15周年記念特別展「房総と近代美術」を開催
1976年6月7日	寄付によって、正面玄関植栽	1989年9月11日	空調機改修工事実施設計完了
1977年3月12日	彫刻の野外展示開始	1990年6月8日	空調機改修工事完了
1977年4月10日	展示棟の一室に美術普及室を開設	1990年9月29日	収蔵庫（第1、2室）冷凍機改修工事着工
1978年1月18日	外構工事として、駐車場拡張（97台）	1990年11月7日	室内標識改修工事着工
1978年2月21日	美術普及棟の準備会発足	1991年1月31日	収蔵庫（第1、2室）冷凍機改修工事完了
1978年10月17日	美術普及棟建築予算を計上	1991年2月20日	室内標識改修工事完了
		1991年12月6日	空調用ポンプ改修工事完了
		1992年4月1日	運営の一部が（財）千葉県社会教育施設管理財団へ委託

1992年10月20日	温湿度記録装置改修工事完了
1992年12月18日	食堂改修工事完了
1994年 7 月23日	開館20周年記念特別展「房総の美術」を開催
1998年 2 月23日	ガス設備改修工事完了
1998年12月24日	空調設備改修工事完了
1999年 6 月 5 日	開館25周年記念特別展「ヒューストン美術館展」を開催
2000年 3 月30日	屋根材剥落補修工事完了 点字ブロック設置工事完了
2000年 7 月31日	文部省委嘱事業「親しむ博物館づくり事業」受託
2001年 3 月29日	屋根材剥落補修工事（第7展示室）完了
2002年 3 月25日	屋根材剥落補修工事（第6展示室）完了
2002年 3 月25日	非常灯用直流電源装置改修工事完了
2002年 3 月25日	防犯カメラ改修工事完了
2002年12月20日	直流電源装置蓄電池改修工事完了
2003年 3 月25日	空調設備改修工事実施設計完了
2003年 7 月10日	空調設備改修工事完了
2004年 4 月18日	来館者500万人達成
2004年11月27日	開館30周年記念企画展「漁民を描くー渡辺學の世界」開催
2005年 8 月20日	空調用インバータ装置改修工事完了
2006年 3 月21日	電話装置改修工事完了
2006年 3 月31日	アトリエ棟空調機修繕工事完了
2006年 3 月31日	(財)千葉県社会教育施設管理財団への運営委託終了
2009年 3 月31日	空調設備修繕工事完了
2010年 3 月25日	耐震補強事前調査完了
2011年 6 月30日	耐震補強設計完了
2012年 3 月21日	耐震意匠設計完了



■ 平成23年度主要記事

4月1日	アート・コレクション アート・セクション「コレクション50」より（～4/10）	9月6日	アート・コレクション「房総の写生地－銚子と大海」（～10/10）
4月1日	アート・コレクション「浜口陽三のメゾチント Part 1」（～4/10）	9月6日	アート・コレクション「浅井忠の鉛筆画」（～10/10）
4月1日	アート・コレクション「水辺の風景」（～4/24）	9月6日	美浜アートフェスティバル「今の私から、なりた未来の私へ」（～9/11）
4月1日	アート・コレクション「彫刻」（～4/10）	9月6日	美浜アートフェスティバルワークショップ「会話の地層」（～9/18）
4月1日	アート・コレクション「浅井忠・フォンタネージとバルビゾン派」（～5/22）	9月10日	アート・コレクション「雄大なる山の風景」（～10/10）
4月9日	震災被災による避難者対象のワークショップ	9月11日	常設展ギャラリートーク
4月12日	アート・コレクション「洋画家・大野隆徳」（～5/22）	9月17日	第4回ワークショップ「モノレール・駅であーと」（～9/26展示）
4月12日	アート・コレクション「津田信夫」（～5/22）	9月19日	マリンバとヴァイオリンのひとつとき
4月12日	アート・コレクション「浜口陽三とメゾチント Part 2」（～5/22）	9月24日	美術館講座展覧会（～9/25）
4月16日	幕張総合高等学校「美術館講座」（～9/25 15日間）	10月29日	ホリデーアート「シルバークレイ講座」（～11/5 2日間）
4月19日	「みんなの県美知っ得WEEK」（～4/24）	11月12日	第35回移動美術館（流山市郷土博物館）（～12/4 19日間）
4月23日	第1回ワークショップ「知っ得・その場であーと」	11月12日	ワークショップ「等身大から始めよう～基地をつくる～」（～12/27展示）
4月24日	千葉シニアアンサンブルコンサート	11月20日	創造海岸アート祭ワークショップ「旗をつくるー住みたい国を考える」（～11/27展示）
4月26日	アート・コレクション「東陶会の工芸家たち」（～5/22）	11月22日	創造海岸アート祭2011活動記録展「個のアートから、まちと未来へ」（～11/27）
5月17日	実技講座「陶芸講座（応用）」（～5/23 7日間）	11月23日	移動展ギャラリートーク
5月28日	特別企画展「ー放浪の天才画家ー山下清展」（～7/10）	11月26日	企画展「関主税展ー夢幻世界を描き続けた日本画家ー」（～1/15）
5月29日	特別企画展「山下清展」ギャラリートーク①	11月26日	ワークショップ「日本画の素材～石の色」
6月4日	第2回ワークショップ「ワクワク色いろ・創作あーと」	11月27日	企画展「関主税展」ギャラリートーク①
6月5日	特別企画展「山下清展」美術講演会①「家族が語る山下清」	12月4日	企画展「関主税展」ギャラリートーク②
6月5日	特別企画展「山下清展」ギャラリートーク②	12月11日	企画展「関主税展」ギャラリートーク③
6月11日	特別企画展「山下清展」美術講演会②「山下清の絵に隠された秘密」	12月13日	アート・コレクション「彫刻」（～4/15）
6月12日	特別企画展「山下清展」ギャラリートーク③	12月18日	企画展「関主税展」美術講演会「関主税によって祝福された自然」
6月18日	ワークショップ「山下清 de はり絵の世界」①	12月25日	企画展「関主税展」ギャラリートーク④
6月19日	特別企画展「山下清展」ギャラリートーク④	1月7日	企画展「関主税展」ミュージアムコンサート
6月19日	特別企画展「山下清展」ミュージアムコンサート「ハッピーバンドコンサート」	1月8日	企画展「関主税展」ギャラリートーク⑤
6月26日	特別企画展「山下清展」ギャラリートーク⑤	1月15日	企画展「関主税展」ギャラリートーク⑥
6月28日	実技講座「陶芸講座（基礎）」（～7/27 6日間）	1月17日	実技講座「金工講座」（～2/2 6日間）
7月2日	ワークショップ「山下清 de はり絵の世界」②	1月21日	アート・コレクション アート・セクション「コレクション100」より（～2/26）
7月3日	特別企画展「山下清展」ギャラリートーク⑥	1月22日	常設展ギャラリートーク
7月10日	特別企画展「山下清展」ギャラリートーク⑦	2月7日	実技講座「篆刻講座」（～2/21 5日間）
7月16日	アート・コレクション「生田宏司の銅版画」（～9/4）	2月14日	企画展「東日本大震災記録写真展」（～2/19）
7月16日	アート・コレクション「日本画家・石井林響」（～9/4）	2月16日	企画展「東日本大震災記録写真展」ギャラリートーク①
7月16日	アート・コレクション「こどものための展覧会ー水辺のいきものー」（～9/4）	2月18日	企画展「東日本大震災記録写真展」ギャラリートーク②
7月16日	アート・コレクション「藤田喬平」（～8/28）	2月19日	企画展「東日本大震災記録写真展」ギャラリートーク③
7月23日	高校生によるサマーコンサート	2月19日	常設展ギャラリートーク
7月24日	常設展ギャラリートーク	2月28日	アート・コレクション 浅井忠の京都時代と「武士の山狩」（～4/15）
7月28日	博物館実習（～8/2 6日間）	3月3日	アート・コレクション「絵から聞こえる音」（～4/15）
7月30日	第3回ワークショップ「なつやすみどきどき美術館」	3月3日	アート・コレクション「千代倉桜舟 いろはにほへと・・・」（～4/22）
8月17日	高校生のためのインターンシップ・美術館セミナー（～8/18）	3月10日	ワークショップ「ぼくは、恐竜を飼うことにした」
8月21日	常設展ギャラリートーク	3月13日	実技講座作品展覧会（～3/18）
9月3日	アート・コレクション「木の彫刻」（～10/10）		
9月3日	ホリデーアート「コラグラフ講座」（～9/10 2日間）		

■ 展 示 事 業 ■

1 アート・コレクション展

洋画家・大野隆徳

会場 第1展示室

会期 平成23年4月12日(火)～5月22日(日)

点数 10点

開催日数 36日間

No.	作家名	作品名	制作年
1	大野隆徳	公園	1912
2	大野隆徳	不忍池の初夏	1929
3	大野隆徳	隅田川	1929
4	大野隆徳	宇治平等院鳳凰堂	1931
5	大野隆徳	ジョッキにさせるばら	1931
6	大野隆徳	裸婦	1933
7	大野隆徳	李朝の鉢と金魚	1934
8	大野隆徳	信濃路の雪(2)	1937頃
9	大野隆徳	北京・北海の春(一)	1938
10	大野隆徳	香遠亭	不詳

津田信夫

会場 第1展示室

会期 平成23年4月12日(火)～5月22日(日)

点数 8点

開催日数 36日間

No.	作家名	作品名	制作年
1	津田信夫	煙草入	1929
2	津田信夫	一點玲瓏	1934
3	津田信夫	鋳銅水盤	1937
4	津田信夫	鳳翔薫炉	1937
5	津田信夫	月下妖麗	1940
6	津田信夫	兎	不詳
7	津田信夫	兎	1934
8	津田信夫	白鳥	1940

浅井忠・フォンタネージとバルビゾン派

会場 第2展示室

会期 平成23年4月1日(金)～5月22日(日)

点数 18点

開催日数 45日間

No.	作家名	作品名	制作年
1	浅井 忠	藁屋根	1887頃
2	浅井 忠	漁婦	1897
3	浅井 忠	フォンテンブローの夕景	1901
4	浅井 忠	農婦	1902

No.	作家名	作品名	制作年
5	フォンタネージ	十月、牧場の夕べ	1860
6	フォンタネージ	木立	1868～72頃
7	フォンタネージ	川辺の二頭の牛	1865頃
8	ラヴィエ	モレステル風景	1867～95
9	ミレー	垣根に沿って草を食む羊	1860頃
10	ルソー	バルビゾンの農場	1850～55頃
11	デュプレ	嵐の前	不詳
12	ディアズ	森の中の農婦	1868
13	トロワイヨン	河辺の道	1860～65
14	ジャック	森の中	1871
15	ドービニー	ヴァルモンドアの小川	1844
16	コロー	フォンテンブローの石切場	1835～40
17	コロー	ナポリ近郊の思い出	1860～65
18	クールベ	雪の中の小鹿	1869頃

浜口陽三のメゾチントpart2

会場 第3展示室

会期 平成23年4月12日(火)～5月22日(日)

点数 31点

開催日数 36日間

No.	作家名	作品名	制作年
1	浜口陽三	うさぎ	1955
2	浜口陽三	ピーマンのある静物	1955
3	浜口陽三	緑のぶどう	1958
4	浜口陽三	ういきょう	1958
5	浜口陽三	びんとくるみ	1959
6	浜口陽三	貝	1960
7	浜口陽三	てんとう虫	1960
8	浜口陽三	トリコット	1965
9	浜口陽三	版画集(ポルトフォリオ)	1974
10	浜口陽三	190と1匹	1975
11	浜口陽三	さくらんぼと青い鉢	1976
12	浜口陽三	貝	1977
13	浜口陽三	赤い蝶	1981
14	浜口陽三	緑の糸糸	1981
15	浜口陽三	ロビーナのさくらんぼ	1981
16	浜口陽三	ロビーナのさくらんぼ(7枚組)	1981
17	浜口陽三	ロビーナのさくらんぼ(15枚組)	1981
18	浜口陽三	緑のさくらんぼ	1981～89
19	浜口陽三	びんとレモン	1983
20	浜口陽三	暗い背景のびんと黄色いレモン	1981～89
21	浜口陽三	びんとレモンと赤い壁	1981～89
22	浜口陽三	3匹の蝶	1985
23	浜口陽三	3匹の蝶(7枚組)	1985

No.	作家名	作品名	制作年
24	浜口陽三	3匹の蝶 (15枚組)	1985
25	浜口陽三	編み棒	1985
26	浜口陽三	黄色い編み棒	1985～89
27	浜口陽三	レダ	1951
28	浜口陽三	草花	1952
29	浜口陽三	顔	1954
30	浜口陽三	くるみ	1971
31	浜口陽三	赤い鉢	1971

東陶会の工芸家たち

会場 第8展示室
 会期 平成23年4月26日(火)～5月22日(日)
 点数 27点
 開催日数 24日間

No.	作家名	作品名	制作年
1	沼田一雅	鸚鵡	不詳
2	各務鉦三	水指	不詳
3	横山朝陽	草花紋搔落皿	不詳
4	横山朝陽	牡丹紋搔落壺	不詳
5	横山朝陽	草花文搔落花瓶	不詳
6	横山朝陽	伊羅保茶盃	不詳
7	横山朝陽	御本手茶盃	不詳
8	横山朝陽	唐津皮鯨平茶盃	不詳
9	宮之原謙	象嵌十字星結晶花挿	1932
10	宮之原謙	天目釉草花文壺	1933頃
11	宮之原謙	鉄釉牡丹唐草彫文壺	1938頃
12	宮之原謙	盛上磁連星壺	1933頃
13	宮之原謙	象嵌磁盛上花蝶鉢	1938頃
14	宮之原謙	陶器葡萄彫文壺	1949
15	宮之原謙	釉嵌よろけ縞と盛上円壺	1950頃
16	宮之原謙	象嵌磁サボテン壺	1970
17	宮之原謙	鉄茶釉鱗文花器	1975頃
18	宮之原謙	象嵌磁鉢	1968
19	宮之原謙	彩盛百合文壺	1974
20	土肥刀泉	釉彩両耳花瓶	1967
21	土肥刀泉	辰砂菊花花瓶	不詳
22	山本正年	黎明	1953
23	山本正年	瑞光	不詳
24	川上祥三郎	黄釉鳥紋大花器	1975
25	川上祥三郎	釉彩草文大皿	1984
26	三橋英作	象嵌花器(展)	1984
27	横山光ノ介	戦碑	1976

生田宏司の銅版画

会場 第1展示室
 会期 平成23年7月16日(土)～9月4日(日)
 点数 18点
 開催日数 44日間

No.	作家名	作品名	制作年
1	生田宏司	静寂の間	1995
2	生田宏司	ざくろ・静物	1995
3	生田宏司	仙宮の白鳥	1995
4	生田宏司	朝摘みの花だいこん	1996
5	生田宏司	二羽の子鳥	1997
6	生田宏司	コタンコルカムイ	1997
7	生田宏司	しろつめ草	1997
8	生田宏司	猫と夜猫子	1998
9	生田宏司	花園	1999
10	生田宏司	猫と猫頭鷹	1999
11	生田宏司	Glass&water	1986
12	生田宏司	Paperentwinedinwood	1987
13	生田宏司	Entwinement	1989
14	生田宏司	金魚鉢もう一つの金魚	1991～92
15	生田宏司	雨がえる	1992
16	生田宏司	桜	1995
17	生田宏司	白福老滝図	1999
18	生田宏司	松虫草	1999

日本画家・石井林響

会場 第1展示室
 会期 平成23年7月16日(土)～9月4日(日)
 点数 8点
 開催日数 44日間

No.	作家名	作品名	制作年
1	石井林響	夜道を駆ける人	不詳
2	石井林響	釣人	不詳
3	石井林響	木華開耶姫	1906
4	石井林響	桃源	1913
5	石井林響	羅浮仙女	不詳
6	石井林響	老松白鷺之図	不詳
7	石井林響	岩魚つり	1926
8	石井林響	蘇武	不詳

浅井忠・フォンタネージとバルビゾン派

会場 第2展示室
 会期 平成23年7月16日(土)～10月10日(月・祝)
 点数 20点

開催日数 75日間

No.	作家名	作品名	制作年
1	浅井 忠	風景(1)	1978 (7/16 ~ 9/4)
2	浅井 忠	風景(2)	1978 (7/16 ~ 9/4)
3	浅井 忠	沢入駅	1884 (9/6 ~ 10/10)
4	浅井 忠	本と花	1889 (9/6 ~ 10/10)
5	浅井 忠	藁屋根	1887頃
6	浅井 忠	小丹波村	1893
7	浅井 忠	母の肖像	1899
8	フォンタネージ	木立	1868 ~ 72
9	フォンタネージ	羊飼いの少女	不詳
10	フォンタネージ	森の空地の農婦	不詳
11	フォンタネージ	牛を追う農婦	1862
12	ラヴィエ	モレストルの谷	不詳
13	ラヴィエ	モレストル風景	不詳
14	ミレー	垣根に沿って草を食む羊	1860頃
15	デュプレ	嵐の前	不詳
16	トロワイヨン	河辺の道	1860 ~ 65
17	ルソー	バルビゾン農場	1850 ~ 55
18	コロー	フォンテンブローの風景	1830 ~ 35
19	クールベ	眠る人	1853
20	ドービニー	ヴァルモンドワの小川	1844

こどものための展覧会 水辺のいきもの

会場 第3展示室

会期 平成23年7月16日(土) ~ 9月4日(日)

点数 22点

開催日数 44日間

No.	作家名	作品名	制作年
1	岩崎巴人	海流の中に立つ少女	1967
2	島多訥郎	群魚と波動	1975
3	大久保作次郎	海水浴帰り	1917
4	大久保作次郎	風	1955
5	富取風堂	蟹	1958
6	渡辺 学	下総の海女	1982
7	渡辺 学	夜	1968
8	椿 貞雄	岩	1936
9	遠藤健郎	房総線ディーゼル・カーの乗客たち	1997
10	遠藤健郎	我は海の子	1997
11	若木 山	海女	1952

No.	作家名	作品名	制作年
12	松原利男	長板中形 蛤と海草文	1997 (8/9 ~ 9/4)
13	松原利男	長板中形 鯉文	1998 (7/16 ~ 8/7)
14	浅井 忠	欧州人物絵図	不詳 (7/16 ~ 8/7)
15	瑛九	銅版画集3『雲の花』 3海底	1953 (8/9 ~ 9/4)
16	浜口陽三	貝	1960 (8/9 ~ 9/4)
17	浜口陽三	貝	1977 (7/16 ~ 8/7)
18	浅井 忠	茶器(猿蟹合戦ノ図)	1902 ~ 07
19	香取秀真	銅製蟹型筆置	不詳
20	岩田藤七	貝	1962
21	岩田藤七	貝	1974
22	岩田藤七	貝	1975

藤田喬平

会場 第8展示室

会期 平成23年7月16日(土) ~ 8月28日(日)

点数 31点

開催日数 38日間

No.	作家名	作品名	制作年
1	藤田喬平	春の小川	1955
2	藤田喬平	花瓶・三彩	1962
3	藤田喬平	光輝	1970
4	藤田喬平	三彩	1980
5	藤田喬平	緑の花	1967
6	藤田喬平	三彩花瓶	1963
7	藤田喬平	三彩鉢	1984
8	藤田喬平	三彩花盛鉢	1983
9	藤田喬平	岳	1968
10	藤田喬平	華	1969
11	藤田喬平	飾筥・淋派	1985頃
12	藤田喬平	飾筥・源氏物語	1995
13	藤田喬平	飾筥朱雀	1985
14	藤田喬平	飾筥・日輪	1993頃
15	藤田喬平	飾筥・湖上の花	1980頃
16	藤田喬平	飾筥・紅白梅	1995頃
17	藤田喬平	飾筥・室町	1996頃
18	藤田喬平	飾筥・瑞光	1998
19	藤田喬平	飾筥・醍醐	2001

No.	作家名	作品名	制作年
20	藤田喬平	飾宮・五色の舞	1998
21	藤田喬平	ヴェニス・スタンド	1986
22	藤田喬平	ヴェニス・スタンド	1986
23	藤田喬平	平水指	2002
24	藤田喬平	ヴェニス花瓶	2003
25	藤田喬平	ヴェニス花瓶	2003
26	藤田喬平	ヴェニス花瓶	1990
27	藤田喬平	ヴェニス花瓶	1996
28	藤田喬平	ヴェニス花瓶	2002
29	藤田喬平	ヴェニス・スタンド	1982
30	藤田喬平	ヴェニス花鉢	2003
31	藤田喬平	秋宝	2003

木の彫刻

会場 第8展示室

会期 平成23年9月3日(土)～10月10日(月・祝)

点数 18点

開催日数 33日間

No.	作家名	作品名	制作年
1	安西順一	秋晴	1948
2	伊藤礼太郎	夜叉神解脱	1982
3	頼永興	心海悠遊	1997
4	長谷川昂	舍利弗	1976
5	長谷川昂	目鍵連	1976
6	長谷川昂	大迦葉	1976
7	長谷川昂	須菩提	1976
8	長谷川昂	富楼那	1976
9	長谷川昂	釈迦	1976
10	長谷川昂	迦旃延	1976
11	長谷川昂	阿那律	1976
12	長谷川昂	優婆離	1976
13	長谷川昂	羅睺羅	1976
14	長谷川昂	阿難	1976
15	米林雄一	Circle and triangle	1983
16	伴 正史	人「無言」	1997
17	堀川 恭	聖なる佇立	1981
18	池田丈一	ひねくれた正四面体	1981

房総の写生地

銚子と太海

会場 第1展示室

会期 平成23年9月6日(火)～10月10日(月・祝)

点数 14点

開催日数 31日間

No.	作家名	作品名	制作年
1	渡辺 学	川口	1976
2	寺田政明	犬吠灯台の見える外川港	1985
3	椿 貞雄	犬吠埼	1948
4	松本弘二	海鹿島の夏	1951
5	無縁寺心澄	銚子大新楼上にて	不詳
6	小山周次	銚子犬吠埼	1961
7	金子周次	犬吠灯台	不詳
8	浅井 忠	房州波太村	1888
9	川瀬巴水	房州太海	1925
10	小堀 進	真夏の海(太海)	1931
11	浅井 真	太海海岸	1960
12	林 倭衛	太海	不詳
13	島田良祐	海近き村	1954
14	酒井亜人	太海	1954

浅井忠の鉛筆画

会場 第1展示室

会期 平成23年9月6日(火)～10月10日(月・祝)

点数 14点

開催日数 31日間

No.	作家名	作品名	制作年
1	浅井 忠	女の顔(模写)	1876～78
2	浅井 忠	手	不詳
3	浅井 忠	本所風景	1878頃
4	浅井 忠	印旛沼	1878
5	浅井 忠	鎌倉建長寺(2)	1885
6	浅井 忠	房州白浜	1887
7	浅井 忠	平城大仏鐘楼	1888
8	浅井 忠	西洋婦人	1901～02
9	浅井 忠	桶とせいろ	1902～07
10	浅井 忠	民家(1)	1902～07
11	浅井 忠	民家(B)	1902～07
12	浅井 忠	樹	1902～07
13	浅井 忠	風景	1902～07
14	浅井 忠	舟	1902～07

雄大なる山の風景

会場 第3展示室

会期 平成23年9月10日(土)～10月10日(月・祝)

点数 20点

開催日数 27日間

No.	作家名	作品名	制作年
1	鶴田吾郎	谷川岳	1959
2	松村三冬	北信濃早春	1973

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
3	小山周次	甲斐牧丘	1946	20	大下藤次郎	紫陽花	1904
4	小宮山俊	白い嶺	1988	21	都鳥英喜	洛北の早春	1934
5	大久保作次郎	ヤッホー	1949	22	石井柏亭	晩春行楽図	1938
6	鶴田吾郎	お山の鈴音	1968	23	安井曾太郎	熱海附近	1929
7	三宅策郎	両神山遠望	2000	24	梅原龍三郎	竹窓読書図	1937
8	鶴田吾郎	富士山	1951	25	原 勝郎	モンマントル	1935
9	前林章司	クムジュンガからのアマダブラム峰	1987	26	石橋武治	筑波遠望	1953
10	小宮山俊	赤い嶺（雪稜）	1988	27	大久保作次郎	海水浴帰り	1917
11	小林 数	アマダブラム峰（ヒマラヤ）	1984	28	岸田劉生	霽れたる冬之日	1917
12	中林 儼	山中湖附近	不詳	29	椿 貞雄	八重子像	1918
13	浅井 真	秋	1947	30	中西利雄	トリエール・シュール・セース	1930
14	鱸 利彦	房州伊豫ヶ岳	1970頃	31	板倉 鼎	金魚	1928
15	吉田 博	雨後の穂高山	1927頃	32	不破 章	二女	1953
16	石井柏亭	信州風景	1948	33	小堀 進	逆光	1974
17	鶴田 熙	夕暈	1978	34	ミレー	垣根に沿って草を食む羊	1860
18	浅井 真	雪の丘	1947	35	フォンタネージ	十月、牧場の夕べ	1860
19	大野隆徳	信濃路の雪（2）	1937	36	コロー	ナポリ近郊の思い出	1860～65
20	小堀 進	川原湯風景	1934	37	クールベ	雪の中の小鹿	1869

アート・セレクション コレクション100

会場 第1・2・3・8展示室ほか

会期 平成24年1月21日(土)～2月26日(日)

点数 100点

開催日数 32日間

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
1	石井林響	木華開耶姫	1906	44	鹿子木孟郎	裸女と野花	不詳
2	富取風堂	朝光	1931	45	和田英作	塚本靖肖像	1901
3	横尾芳月	いで湯	1980	46	大野隆徳	北京・北海の春(一)	1938
4	酒井亜人	晩秋	1952	47	黒田重太郎	浴後	1927
5	時田直善	崖の観音	1965	48	鶴田吾郎	朝日連峰	1951～54
6	東山魁夷	春雪	1973	49	林 倭衛	太海	不詳
7	若木 山	波上海女図	1953	50	安藤信哉	パリの窓	1962
8	渡辺 学	夜明け	1976	51	春日部たすく	縄文の花	1970
9	関 主税	晨	1984	52	笹岡了一	天使とヤコブの闘い	1975
10	鈴木鷺湖	農耕の図	1867	53	ディアズ	森の中の農婦	1868
11	島多訥郎	群魚と波動	1975	54	トロワイヨン	河辺の道	1860～65
12	吉岡堅二	馬	1937	55	デュプレ	森のはずれ	1860～69
13	小野具定	遠くなった海	1974	56	ルソー	バルビゾン農家	1850～55
14	岩崎巴人	波濤岩礁図	1974	57	ジャック	森の中	1871
15	加倉井和夫	穀機	1967	58	ドービニー	オワーズ川のほとり	1865
16	松尾敏男	歷程	1984	59	ワーグマン	七里ヶ浜風景	不詳
17	後藤純男	山門雨後	1974	60	ローランス	カルカッソンの幽閉者の解放	不詳
18	浅井 忠	藁屋根	1887頃	61	コラン	田園詩	1903
19	堀江正章	耕地整理図	1902頃	62	香取秀真	鳩香炉	1949
				63	津田信夫	鳳翔薫炉	1937

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
64	宮之原謙	陶器葡萄彫文壺	1949	1	浅井 忠	東宮御所壁飾草稿 1	1905
65	秋山逸生	蝶貝象嵌箱	1966	2	浅井 忠	東宮御所壁飾草稿 2	1905
66	信田 洋	透壺	1968	3	浅井 忠	武士の山狩墨線画（白描）	1905～07
67	青木滋芳	黒潮	1977	4	浅井 忠	山狩武者	1905～07
68	藤田喬平	飾筥・しだれ櫻	1985	5	浅井 忠	武士の山狩墨線画（白描）	1905～07
69	高村豊周	青銅花入	不詳	6	浅井 忠	樹（Ⅰ）	1905～07
70	鹿島一谷	布目象嵌菱つなぎ文南鐐水指	1981	7	浅井 忠	樹（Ⅴ）	1905～07
71	香取正彦	朧銀玉錯花瓶	1977	8	浅井 忠	樹	1905～07
72	土肥刀泉	釉彩両耳花瓶	1967	9	浅井 忠	京都高等工芸学校の庭	1903
73	増村益城	乾漆波文溜塗盛器	1965	10	浅井 忠	奈良郊外	1903
74	中基瑞真	桐経箱	1992	11	浅井 忠	鐘馗図	1903
75	山本正年	瑞光	不詳	12	浅井 忠	琵琶法師	1902～07
76	帖佐美行	香実と想鳥（集いの為の酒器セット）	1984	13	浅井 忠	花	1902～07
77	蓮田修吾郎	鐘がなるリュウベック	1986	14	浅井 忠	図案画稿「花瓶二種」	不詳
78	高村光太郎	手	1918	15	田中善之助	聖護院の裏	1907
79	藤野天光	ああ青春	1962	16	間部時雄	寒林	不詳
80	大須賀力	椅子の女	1975	17	伊藤快彦	林檎	昭和初期頃
81	長谷川昂	朝	1979	18	都鳥英喜	海浜風景	1909
82	木村賢太郎	うごめくトルソーⅡ	1974	19	霜鳥之彦	緑のスウェーター	1923
83	プールデル	聖母子	1921	20	黒田重太郎	女と小犬	1928
84	高田博厚	ロマン・ロラン	1961	21	梅原龍三郎	伊豆大仁風景	1929
85	柳原義達	風の中の鴉	1984	22	安井曾太郎	熱海附近	1929
86	佐藤忠良	ラップ帽	1982	浅井忠・フォンタネージとバルビゾン派			
87	舟越保武	婦人像	1985	会 場 第2展示室			
88	山本正道	エトルリアの壺	1985	会 期 平成24年2月28日(火)～3月31日(土)			
89	浜口陽三	パリの屋根	1956	点 数 18点			
90	星 襄一	王の樹	1976	開催日数 29日間			
91	深沢幸雄	掌の中の影	1976	No.	作家名	作品名	制作年
92	川瀬巴水	房州太海	1925	1	浅井 忠	母の肖像	1899
93	永瀬義郎	もの想う天使	1973	2	浅井 忠	パリ公園	1900～02
94	池田満寿夫	シンデレラの広告	1966	3	浅井 忠	西洋婦人	1901～02
95	石井雙石	林鳥相忘不辟人	1951	4	浅井 忠	男性裸像	1901
96	浅見喜舟	崔子玉座右銘	1967	5	浅井 忠	農婦	1902
97	千代倉桜舟	宗左近詩（縄文太鼓より）	1993	6	フォンタネージ	十月、牧場の夕べ	1860
98	大石隆子	待君	1975	7	フォンタネージ	羊飼いの少女	不詳
99	高沢南総	春風秋月	1965	8	フォンタネージ	水汲み場風景	1863頃
100	小暮青風	天鷲	1966	9	ラヴィエ	モレステル風景（沼）	1867～95
				10	ラヴィエ	モレステルの谷	不詳
				11	コロー	ナポリ近郊の思い出	1860～65
				12	ミレー	垣根に沿って草を食む羊	1860頃
				13	クールベ	雪の中の小鹿	1869
				14	ルソー	バルビゾンの農場	1850～55
				15	デュプレ	森のはずれ	1860年代

浅井忠の京都時代と「武士の山狩」

会 場 第1展示室
 会 期 平成24年2月28日(火)～4月15日(日)
 点 数 22点
 開催日数 42日間

No.	作家名	作品名	制作年
16	ジャック	森の中	1871
17	トロワイヨン	河辺の道	1860～65
18	ディアズ	森の中の農婦	1868

絵から聞こえる音

会場 第3展示室

会期 平成24年3月3日(土)～4月15日(日)

点数 16点

開催日数 38日間

No.	作家名	作品名	制作年
1	野田哲也	Diary:Aug 9th '81 to Nakatsugawa	1981
2	野田哲也	Diary:May 7th '86 in Nara	1986
3	星加達夫	影	1996
4	近藤南海子	グレーの冬	1992
5	行木正義	空間吟詠	1990
6	行木正義	作品81	1981
7	東山魁夷	濤声	1994
8	大浦掬水	雪の街角	1980
9	関 主税	濶声	1977
10	コラン	田園詩	1903
11	クールベ	眠る人	1853
12	石橋武治	細道	不詳
13	中西利雄	四人の女	1939
14	鶴田吾郎	木をつくる	不詳
15	深沢幸雄	ロック	1990
16	ハイド	雨の夜	1906

千代倉桜舟 いろはにほへと…

会場 第8展示室

会期 平成24年3月3日(土)～4月22日(日)

点数 2点

開催日数 44日間

No.	作家名	作品名	制作年
1	千代倉桜舟	いろは歌	1978
2	千代倉桜舟	いろはうたの構築－4部連－	1984



2 特別企画展・企画展

特別企画展 放浪の天才画家 山下清展

会場 第1・2・3・8展示室

会期 平成23年5月28日(土)～7月10日(日)

点数 作品189点

遺品及び参考資料30点

開催日数 38日間

入場者数 62,183名

No.	作家名	作品名	制作年
1	山下 清	あしなが蜂	1934
2	山下 清	蝶々	1934
3	山下 清	ほたる	1934
4	山下 清	せみ	1934
5	山下 清	とんぼ	1934
6	山下 清	蝶	1934
7	山下 清	蜂1	不詳
8	山下 清	蜂2	不詳
9	山下 清	蝶々	不詳
10	山下 清	かたつむり	不詳
11	山下 清	とんぼ	不詳
12	山下 清	さかな	不詳
13	山下 清	餅つき	1935
14	山下 清	剣道	1936
15	山下 清	寝る支度をしているところ	1936
16	山下 清	大工さん	1937
17	山下 清	柔道	1937
18	山下 清	身体検査	1937
19	山下 清	寝るところ	1937
20	山下 清	二重橋	1937
21	山下 清	体そう	1937
22	山下 清	風呂場	1937
23	山下 清	活動写真	1937
24	山下 清	雪だるま	1937
25	山下 清	上野の地下鉄	1937
26	山下 清	農園	1937
27	山下 清	庭	1937
28	山下 清	桃畑	1937
29	山下 清	田舎の風景	1937
30	山下 清	湖畔	1938
31	山下 清	ともだち	1938
32	山下 清	上野の東照宮	1939
33	山下 清	園芸作業	1939

No.	作家名	作品名	制作年
34	山下 清	八幡様の鳥居	1939
35	山下 清	練兵場へ遠足	1940
36	山下 清	鉢花	1937
37	山下 清	栗	1938
38	山下 清	ゆり	1938
39	山下 清	いけ花	1938
40	山下 清	藤	1939
41	山下 清	つつじ	1939
42	山下 清	桜	1939
43	山下 清	菊	1939
44	山下 清	ばら	1939
45	山下 清	菊	1940
46	山下 清	さるすべり	1940
47	山下 清	木蓮	1940
48	山下 清	観兵式	1937
49	山下 清	軍艦	1938
50	山下 清	高射砲	1938
51	山下 清	鉄条網	1938
52	山下 清	学園から出かけるところ	1955
53	山下 清	汽車道を歩いているところ	1954
54	山下 清	袋井で夕飯を貰っているところ	1954
55	山下 清	草津温泉の電車を歩いているところ	1954
56	山下 清	トンネルをくぐる時のこと	1954
57	山下 清	新しいリュックの中へ品物をしまうところ	1954
58	山下 清	寝る時の事	1954
59	山下 清	熱海の海岸の景色を見ながら歩いているところ	1954
60	山下 清	水に溺れた時の事	1954
61	山下 清	東海道線の島田で夕飯を貰いに行くところ	1954
62	山下 清	易者に運勢を見て貰った時の事	1954
63	山下 清	うすい峠	1954
64	山下 清	熊谷の花火	1954
65	山下 清	遠足	1950
66	山下 清	神宮外苑	1950
67	山下 清	金町の魚釣り	1950
68	山下 清	山の頂上から見た景色	1950
69	山下 清	秋のキリン草	1943
70	山下 清	金せん花	1949
71	山下 清	菊	1949
72	山下 清	群鶏	1940
73	山下 清	上野のしのばずの池	1940
74	山下 清	上野の五重塔	1940
75	山下 清	伊豆大島の風景	1954
76	山下 清	自分の顔	1950
77	山下 清	ぼけ	1951

No.	作家名	作品名	制作年	No.	作家名	作品名	制作年
78	山下 清	学園付近の風景	1949	121	山下 清	ストックホルムの市役所の庭	1961
79	山下 清	群鶏	1960	122	山下 清	ストックホルムの市役所	1961
80	山下 清	栗の花	1938	123	山下 清	ストックホルムの夜景	1961
81	山下 清	つばき	1951	124	山下 清	コペンハーゲンの人魚像	1961
82	山下 清	桜	1951	125	山下 清	オランダの風車	1961
83	山下 清	ストックと矢車草	1951	126	山下 清	ロンドン塔付近	1961
84	山下 清	ラッパ水仙	1951	127	山下 清	パリの凱旋門	1961
85	山下 清	チューリップ	1951	128	山下 清	パリのモンマルトル	1961
86	山下 清	花もも(九谷焼)	1956	129	山下 清	パリのノートルダム寺院	1961
87	山下 清	ほおずき	不詳	130	山下 清	パリのムーランルージュ	1961
88	山下 清	カーネーション	不詳	131	山下 清	パリのエッフェル塔	1961
89	山下 清	かたつむり	不詳	132	山下 清	ベニスのサンマルコ寺院	1961
90	山下 清	群鶏	不詳	133	山下 清	ベニスのゴンドラ風景	1961
91	山下 清	とんぼ	1960	134	山下 清	スイスの町	1961
92	山下 清	大文字焼風景(牛ノ戸焼)	1956	135	山下 清	皇居前広場(東京)	不詳
93	山下 清	かたつむりととんぼと弘法麦	不詳	136	山下 清	品川(品川)	不詳
94	山下 清	富士山(タイル画)	不詳	137	山下 清	川崎大師(川崎)	不詳
	山下 清	富士山(石版画)	1956	138	山下 清	横浜中央通り(横浜)	不詳
95	山下 清	お蝶夫人屋敷	1956	139	山下 清	第三京浜道路(保土ヶ谷)	不詳
96	山下 清	はまごう	1956	140	山下 清	わらぶき屋根(戸塚)	不詳
97	山下 清	岐阜の大仏	1957	141	山下 清	遊行寺(藤沢)	不詳
98	山下 清	奈良二月堂	1957	142	山下 清	こま山(平塚)	不詳
99	山下 清	養老の滝	1957	143	山下 清	松並木(大磯)	不詳
100	山下 清	東京オリンピック	1964	144	山下 清	春のお城(小田原)	不詳
101	山下 清	関門海峡1	1956	145	山下 清	箱根旧道(箱根)	不詳
102	山下 清	別府のワニ	1956	146	山下 清	三島大社(三島)	不詳
103	山下 清	新潟の油田	1956	147	山下 清	黄瀬川の下流(沼津)	不詳
104	山下 清	横浜埠頭にて	1956	148	山下 清	白隠禅師の墓(原)	不詳
105	山下 清	石庭	1956	149	山下 清	富士(吉原)	不詳
106	山下 清	仙台の七夕	1956	150	山下 清	山のちかい町(蒲原)	不詳
107	山下 清	トンネルのある風景	1956	151	山下 清	がけくずれ(由比)	不詳
108	山下 清	平和観音	1958	152	山下 清	清見寺(興津)	不詳
109	山下 清	小石川の後樂園	1960	153	山下 清	羽衣の松(清水)	不詳
110	山下 清	富士山	1957	154	山下 清	ゆったりした町(静岡)	不詳
111	山下 清	本の挿し絵	1957	155	山下 清	柴屋寺(丸子)	不詳
112	山下 清	花の絵の下書き	不詳	156	山下 清	峠の景色(岡部)	不詳
113	山下 清	ラ・ムスメ(娘)-ゴッホによる	1940	157	山下 清	人の住む町(藤枝)	不詳
114	山下 清	長岡の花火	1950	158	山下 清	大井川(島田)	不詳
115	山下 清	桜島	1954	159	山下 清	牧の原(金谷)	不詳
116	山下 清	ハイデルベルクの古城	1964	160	山下 清	小夜の中山(日坂)	不詳
117	山下 清	パリのサクレクール寺院	1962	161	山下 清	小さな城(掛川)	不詳
118	山下 清	スイスの町	1963	162	山下 清	花の可睡(袋井)	不詳
119	山下 清	スイス風景	1963	163	山下 清	天龍川(磐田)	不詳
120	山下 清	ロンドンのタワーブリッジ	1965	164	山下 清	砂丘の風(浜松)	不詳

No.	作家名	作品名	制作年	
165	山下 清	弁天島(舞阪)	不詳	19 切手のスクラップ
166	山下 清	関所あと(新居)	不詳	20 裸の大將放浪記 全4巻 1979
167	山下 清	汐見坂(白須賀)	不詳	21 山下清 放浪日記 1956
168	山下 清	さまざな岩(二川)	不詳	22 放浪 牢屋から逃げたい 1971
169	山下 清	豊橋の城(豊橋)	不詳	23 別冊サンケイ (表紙) 1957
170	山下 清	いなりさまの大將(豊川・番外)	不詳	24 山下清 日本の風物 1961
171	山下 清	泊まりたくなる町(御油・赤坂)	不詳	25 山下清 東海道五十三次 1971
172	山下 清	町はずれ(藤川)	不詳	26 画集 山下清ひとりだけの旅 1970
173	山下 清	矢矧橋(岡崎)	不詳	27 山下清作品集 (2冊セット)
174	山下 清	八橋(知立)	不詳	28 週刊朝日 1955
175	山下 清	古い家ばかり(鳴海)	不詳	29 ヨーロッパに行く 1981
176	山下 清	熱田神宮(名古屋)	不詳	30 記録映画「はだかの天才画家山下清」
177	山下 清	舟でくる町(桑名)	不詳	
178	山下 清	石油工場(四日市)	不詳	
179	山下 清	冬の寺(石薬師)	不詳	
180	山下 清	ふつうの景色(庄野)	不詳	
181	山下 清	城あと公園(亀山)	不詳	
182	山下 清	本陣の門(関)	不詳	
183	山下 清	筆捨山(坂ノ下)	不詳	
184	山下 清	田村神社(土山)	不詳	
185	山下 清	大岡寺(水口)	不詳	
186	山下 清	さびしい町(石部)	不詳	
187	山下 清	姥ヶ餅屋(草津)	不詳	
188	山下 清	瀬田の唐橋(大津)	不詳	
189	山下 清	三条大橋(京都)	不詳	

遺品及び参考資料

- 1 放浪日記6冊
- 2 絵日記帳
- 3 放浪中の認識票
- 4 放浪中に使用したリュックサック
- 5 放浪中に使用したゆかた・帯
- 6 絶筆となった「しおり」のサイン
- 7 愛用の湯飲み
- 8 愛用の腕時計
- 9 愛用の置き時計
- 10 愛用の8mmカメラ
- 11 愛用の書物 (ヴァン・ゴッホ)
- 12 愛用の書物 (世界の名画)
- 13 母宛に書かれたハガキ
- 14 パスポート
- 15 エールフランスのチケット
- 16 将棋の駒
- 17 ヨーロッパ旅行の土産 (馬の置物)
- 18 知人からもらった勲章



企画展 関主税展 ―夢幻世界を描き続けた日本画家―

会場 第1・2・3・8展示室

会期 平成23年11月26日(土)～平成24年1月15日(日)

点数 72点

開催日数 37日間

入場者数 7,778名

No.	作家名	作品名	制作年
1	関 主税	道廟の朝	1949
2	関 主税	山のけむり	1957
3	関 主税	砂丘	1962
4	関 主税	山湖	1964
5	関 主税	蒼	1965
6	関 主税	高原	1966
7	関 主税	湖	1970
8	関 主税	鳥	1971
9	関 主税	蒼	1973
10	関 主税	晨	1975
11	関 主税	澗声	1977
12	関 主税	花霧	1978
13	関 主税	星辰	1980
14	関 主税	湖畔	1983
15	関 主税	晨	1984
16	関 主税	野	1985
17	関 主税	華の雲	1987
18	関 主税	湖	1989
19	関 主税	刻	1990
20	関 主税	波濤	1991
21	関 主税	上總の春	1992
22	関 主税	悠	1993
23	関 主税	静	1994
24	関 主税	翠	1995
25	関 主税	幸せの島	1996
26	関 主税	湖畔	1997
27	関 主税	潮	1998
28	関 主税	園	1999
29	関 主税	室内風景	1940
30	関 主税	海岸風景	1941
31	関 主税	学生時代作品 I	1941
32	関 主税	学生時代作品 II	1941
33	関 主税	山査子	1943
34	関 主税	りんご	1945
35	関 主税	雀	1946
36	関 主税	九十九谷	1946
37	関 主税	五浦海岸	1946～49

No.	作家名	作品名	制作年
38	関 主税	そら豆	1947
39	関 主税	鯛	1947
40	関 主税	蕨	1949
41	関 主税	滝	1960頃
42	関 主税	白鷺	1971
43	関 主税	波濤	1990
44	関 主税	韻	1991
45	関 主税	波濤	1992
46	関 主税	安房の春	1990
47	関 主税	春の雨	1995
48	関 主税	彩光	1995
49	関 主税	妙高	1995
50	関 主税	紅彩	1995
51	関 主税	庭	1947～58
52	関 主税	象	不詳
53	関 主税	明けゆく	不詳
54	関 主税	月昇る	不詳
55	関 主税	千葉ノ海	不詳
56	関 主税	池心	不詳
57	関 主税	松	不詳
58	関 主税	紅白梅	不詳
59	関 主税	湖畔の鳥	不詳
60	関 主税	月と松	不詳
61	関 主税	山湖 秋	不詳
62	関 主税	山百合	不詳
63	関 主税	ポピー	不詳
64	関 主税	牡丹	不詳
65	関 主税	菊	不詳
66	関 主税	一宮の海	不詳
67	関 主税	花	不詳
68	関 主税	那智の滝	不詳
69	関 主税	曙山湖	不詳
70	関 主税	牡丹	不詳
71	関 主税	榛名富士	不詳
72	関 主税	海	不詳



3 第35回千葉県移動美術館

流山市立博物館を会場として、日本画、洋画、彫刻、工芸、書、版画の各6分野にわたる千葉県立美術館の所蔵作品を紹介するとともに、第63回千葉県美術展覧会の受賞作品も併せて展示した。

会 場 流山市立博物館

会 期 平成23年11月12日(土)～12月4日(日)
(11月14日(月)、21日(月)、28日(月)、30日(水)は休館)

展示点数 30点

開催日数 19日

入場者数 2,165名

<彫刻>

No.	作家名	作品名	制作年
20	高田博厚	マハトマ・ガンジー	1960
21	高村光太郎	手	1918

<工芸>

No.	作家名	作品名	制作年
22	香取秀真	笑獅子香炉	1948
23	河村蜻山	長方皿 雨・風・晴	不詳
24	藤田喬平	飾宮・湖上の花	1980頃
25	増村益城	乾漆波文溜塗盛器	1965
26	宮之原謙	彩盛百合文壺	1974

<洋画>

No.	作家名	作品名	制作年
1	秋元 恒	高生垣の家	1976
2	秋元松子	枯葉の詩	1994
3	浅井 忠	農婦	1902
4	フォンタネージ	森の空地の農婦	不詳
5	板倉 鼎	金魚	1928
6	梅原龍三郎	竹窓読書図	1937
7	コロー	フォンテンブローの風景	1830～35頃
8	小堀 進	冬晴の果樹園	1936
9	笹岡了一	放蕩息子の帰宅	1960
10	安井曾太郎	熱海附近	1929

第63回千葉県美術展覧会（県展）県展賞受賞作品

No.	作家名	作品名	制作年
27	梅津隆道	巣立ち	2011
28	三輪富美子	わらとパン	2011
29	和田 的	青白磁押文水盤	2011
30	鹿倉碩齋	疊雲長風	2011

<日本画>

No.	作家名	作品名	制作年
11	松尾敏男	原野	1971
12	松岡映丘	後少将義孝	不詳
13	横尾芳月	いで湯	1980
14	渡辺阿以湖	牡丹	1986
15	渡辺 学	川口	1976

<版画>

No.	作家名	作品名	制作年
16	池田満寿夫	遙かなる通り	1970
17	星 襄一	星の森(大)	1971

<書>

No.	作家名	作品名	制作年
18	浅見喜舟	朱存理詩	不詳
19	奥田家山	天つ神	1997

4 東日本大震災記録写真展 赤十字の救護・救援活動の記録

日本赤十字社千葉県支部との共催で、日本赤十字社が被災地の救護・救援活動を行った際に撮影した記録写真を用いて、震災直後の様子から、復興に向けて立ち上がり始めた現在の様子を紹介した。

会 期 平成24年 2月14日（火）～19日（日）

開催日数 6日間

会 場 第6展示室

展示点数 写真パネル107点ほか

入場者数 1,735名

<写真パネル展示>

震災直後の被災地の様子から、日赤の救護・救援活動の様子、仮設住宅での暮らしやボランティアの活動記録等を、107枚の写真パネルにして展示した。

<仮設救護所再現展示>

災害時に使用する組み立て式の仮設救護所と、そこで使用される備品の一式を再現展示した。

<緊急時の救援品展示>

日本赤十字社が災害に備えて備蓄している毛布や、緊急時に配布される救援品の一式を展示した。

<仮設住宅入居者への支援品の展示>

東日本大震災で、仮設住宅に入居された方向けに配布された家電製品一式の見本を展示した。

<災害救護・救援車両の展示>

2月18日（土）に、実際に石巻市に派遣されていた日本赤十字社の災害救護・救援車両を、正面玄関前で展示した。

<ギャラリートーク>

被災地で活動した日本赤十字社の救護員によるギャラリートークを、計3回（2月16日、2月18日、2月19日）実施した。参加者合計167名。

<炊き出し実演>

2月18日（土）に、日本赤十字社が災害時に備えて備蓄している、災害包装食の炊き出し実演を行った。参加者80名。

<メッセージボードの設置>

展示室内に被災地へのメッセージを記入できるボードを設置し、展覧会終了後に日本赤十字社宮城県支部を通して、被災各地へ配布した。



■ 普 及 事 業 ■

1 特別企画展・企画展関連事業

① 特別企画展「山下 清展」関連事業

美術講演会 1 「家族が語る山下清」

山下清の甥にあたる山下浩氏を講師に迎え、清と暮らした日々の記憶と記録写真とともに、その足跡を辿り、山下清の作品の魅力とその業績を顕彰した。

日 時 6月5日（日）14:00～15:30

会 場 千葉県立美術館 講堂

参加者数 137名

美術講演会 2 「山下清の絵に隠された秘密」

文化財保存修復家の岩井希久子氏を講師に迎え、山下清作品の修復作業を通して知り得た、作品作りのテクニック、作品の保存状態と修復方法などについて話を伺った。

日 時 平成23年6月11日（土）14:00～15:30

会 場 千葉県立美術館 講堂

参加者数 89名

ギャラリートーク

特別企画展「山下清展」会期中の毎週日曜日午後2時から当館学芸員（6月5日は山下浩氏）による計7回のギャラリートークを行った。

会 場 第1・2・3・8展示室

開催日時及び参加者数

5月29日（日）40名	6月5日（日）76名
6月12日（日）48名	6月19日（日）63名
6月26日（日）87名	7月3日（日）90名
7月10日（日）60名	

関連ワークショップ「山下清 de はり絵の世界」

グループに分かれて学芸員のガイダンスにより山下展を鑑賞後、はり絵の創作を行った。台紙に鉛筆で描いた絵をもとに色紙をちぎり、のりで貼る作業を通して、山下と同じ体験をしながら、はり絵の難しさ、楽しさを知るとともに、山下作品の魅力を改めて知ることができた。最後は鑑賞会を行った。

このワークショップは、当初は1回のみで開催予定であったが、定員の3倍を越える参加申込があったため、1回追加して合計2回開催した。

<第1回>

日 時 平成23年6月18日（土）10:00～15:00

会 場 第2実技室

参加者数 34名

<第2回>

日 時 平成23年7月2日（土）10:00～15:00

会 場 第7展示室

参加者数 32名

ミュージアムコンサート

特別企画展「山下清展」関連事業として、ハッピーバンド（特別支援学校卒業生）によるミュージアムコンサートを実施した。演奏曲は、「ハッピー！」「かたつむり」「なかまのうた」などバンドのオリジナル曲9曲に加えて、ポピュラーな名曲3曲「亜麻色の髪の乙女」「世界に一つだけの花」「翼をください」の計12曲を2回演奏し、好評であった。

日 時 平成23年6月19日（日）1回目13:00～
2回目14:45～

会 場 講堂

演 奏 ハッピーバンド（特別支援学校卒業生）

参加者数 1回目159名 2回目129名

② 企画展「関 主税展」関連事業

美術講演会「関主税によって祝福された自然」

日本中世・近世絵画史の専門家として、様式論の立場から日本絵画史の流れを研究し、多くの著書のある河合正朝氏を講師に迎え、日本絵画の流れや親交のあった関主税について伺った。

日 時 平成23年12月18日（日）14:00～15:30

会 場 講堂

参加者数 88名

ギャラリートーク

企画展「関主税展」会期中の毎週日曜日午後2時から、当館学芸員による計6回のギャラリートークを行った。

会 場 第1・2・3・8展示室

開催日時と参加者数

11月27日（日）26名	12月4日（日）20名
12月11日（日）26名	12月25日（日）18名
1月8日（日）82名	1月15日（日）52名

関連ワークショップ「日本画の素材～石の色」

学芸員のガイダンスにより関主税展を鑑賞後、関主税が描いている日本画の素材を実際に用いて制作した。色のついた石を砕いて顔料として、ニカワで溶いて桐箱に塗って自分の箱を作った。体験を通して、関主税がどのように日本画を描いたかを追体験し、最後に作品鑑賞会を行った。

日 時 平成23年11月26日（土）10:00 ～ 16:00

会 場 第2実技室

参加者数 17名

ミュージアムコンサート

ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉のメンバーによるミュージアムコンサートを実施した。内容は歌とピアノ三重奏による「日本の名曲～春夏秋冬」と題して、第一部では春から夏にかけての名曲を、第二部では秋から冬にかけての名曲を演奏した。

日 時 平成24年1月7日（日）14:00 ～

会 場 講堂

演 奏 ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉のメンバー

参加者数 177名

2 ワークショップ

鑑賞と一体となった創作体験学習を通して、親しまれる美術館利用の促進を図るため、展覧会に因んだ内容で、以下のワークショップを開催した。

第1回ワークショップ「知っ得・その場であーと」

本館の普及課がどのような仕事をしているのかを紹介する「みんなの県美・知っ得Week展」に因み、開催した。

オリジナルカンパジやエコ素材でできているバードマグネットを作成した。

日 時 平成23年4月23日（土）10:00 ～ 15:30

会 場 第6展示室

参加者数 42名

第2回ワークショップ「ワクワク色いろ・創作あーと」

幼児から一般を対象に5種類の創作体験ができるワークショップを展開した。ビルダーカード、カンパジ、カラフルこがもちゃん、たのしい立体、あいいろ型染めカードの各コーナーによって、いろいろなアートにふれる一日を提供した。

日 時 平成23年6月4日（土）10:00 ～ 15:00

会 場 第7展示室

参加者数 81名

第3回ワークショップ「なつやすみどきどき美術館」

本館で実習中の博物館実習生をスタッフに加えた企画として、開催中のアート・コレクション「子どものための展覧会 水辺のいきもの」に因んで、段ボールを用いて、海の生き物を作るワークショップを行った。会場壁面に貼った海の生き物たちの写真を参考に、タコ、イカ、ペンギン、イソギンチャク、サメなど工夫を凝らした生き物が作り出された。

日 時 平成23年7月30日（土）13:00 ～ 16:00

会 場 第7展示室

参加者数 37名

第4回ワークショップ「モノレール・駅であーと」

千葉都市モノレールと共催し、小学生の親子を対象とするワークショップ。ここ数年はモノレール車両基地の展示車両内で制作し、そのまましばらく展示したが、今回はモノレール千葉駅構内に〈行ってみたい所〉をカッティングシートで作り上げて線路で各作品をつなぎ、一つの風景とした。出来上がった作品は2週間、駅構内に展示され、駅を利用する人々の目を楽しませた。



日 時 平成23年 9月17日（土）13:00～16:30

場 所 千葉都市モノレール

参加者数 24組（28名）

ワークショップ「ぼくは、恐竜を飼うことにした」

県立中央博物館が近隣施設等と共催した企画展「恐竜アロサウルスとその時代の生き物たち」に関連して、千葉市美術館、千葉市民ギャラリー稲毛と本館の3館合同協賛企画としてワークショップを開催した。石粉粘土を使って、「こんな恐竜を飼ってみたい」をテーマに自由な発想による恐竜たちが誕生した。水彩絵の具で着彩して完成後、作品鑑賞会を行った。

日 時 平成24年 3月10日（土）13:30～16:00

会 場 千葉県立中央博物館研修室

参加者数 20名



3 実技講座

陶芸講座（応用）

開 催 日 5月17日（火）、5月18日（水）、5月19日（木）
5月25日（水）、5月26日（木）、6月16日（木）
6月23日（木）（7日間）

講 師 上瀧浩一氏

受講者数 21名

内 容 陶芸経験者が自由課題で作品を制作し、磁器皿の絵付け体験を行った。

陶芸講座（基礎）

開 催 日 6月28日（火）、6月29日（水）、6月30日（木）
7月5日（火）、7月20日（水）、7月27日（水）
（6日間）

講 師 上瀧浩一氏

受講者数 29名

内 容 陶芸初心者を中心に、平皿、花瓶、茶碗の基本形態の作品3点を制作した。

ホリデーアート・コラグラフ講座

開 催 日 9月3日（土）、9月10日（土）（2日間）

講 師 上田靖之氏

受講者数 19名

内 容 紙や落ち葉、タコ糸等を厚紙にコラージュして版を作成し、一版多色刷りを行うコラグラフ技法を用いて作品を制作した。

ホリデーアート・シルバークレイ講座

開 催 日 10月29日（土）、11月5日（土）（2日間）

講 師 武藤由利子氏

受講者数 9名

内 容 新しい造形素材である銀粘土を使用して、ペンダントとリングの二種類の作品を制作した。

金工講座

開 催 日 1月17日（火）、1月19日（木）、1月24日（火）
1月26日（木）、1月31日（火）、2月2日（木）
（6日間）

講 師 平山記通氏

受講者数 11名

内 容 銅板を絞って立ち上げる基礎的な鍛金技法を学び、初心者はコップを制作。経験者はフライパンや片手鍋など、より大きく複雑な形態の課題に取り組んだ。

篆刻講座

開催日 2月7日(火)、2月10日(金)、2月14日(火)
2月17日(金)、2月21日(火) (5日間)

講師 那須大卿氏 住吉花間氏

受講者数 21名

内容 講義や印章の制作を通して篆刻の魅力に触れ、
歴史や基本的な技法を学んだ。

実技講座作品展

平成23年度実技講座で制作した作品による展覧会を第6
展示室で実施し、講座参加者の作品発表の場とするともに
に、広報活動を行った。

会 期 平成23年3月13日(火)～3月18日(日)

出品者数 47名

作品点数 96点

入場者数 562名



4 ミュージアムコンサート

本館の「みる・かたる・つくる」の方針に基づき、展示
の鑑賞をギャラリートークやワークショップなどとともに
コンサートによって深め、より芸術を楽しむことを目的と
してミュージアムコンサートを開催している。

今年度は、企画展関連事業を含めて5つのコンサートを
実施した。以下は企画展関連事業を除いた3つのコンサ
ートである。

シニアアンサンブルコンサート

アマチュア音楽サークルであるシニアアンサンブルによ
る「そよ風コンサート」と題するコンサートを開催した。
曲目は、「美しく青きドナウ」、「ペルシャの市場にて」、「シャ
レード」、「サントワマミー」等、クラシックから映画音楽、
ポピュラーなど多彩なジャンルで構成された。またメンバ
ーによるアルゼンチンタンゴのダンス、歌、美術作品の展
示も行われた。

日 時 4月24日(日) 14:00～15:00

会 場 第7展示室

参加者数 296名

高校生によるサマーコンサート

夏休み期間中に千葉県立千葉女子高等学校と連携して、
オーケストラ部によるサマーコンサートを開催した。2部
制で実施し、幼児から高齢者までの参加者があった。

曲目は、オペラ「ラ・ジョコンダ」より「時の踊り」、「と
なりのトトロ」より「さんぽ」、「Omens of Love」、「カヴァ
レリア・ルスティカーナ間奏曲」、バレエ組曲「三角帽子」
より「終幕の踊り」などを演奏し、好評であった。

日 時 7月23日(土) 14:00～、15:00～

会 場 第7展示室

参加者数 1回目275名 2回目252名

マリンバとヴァイオリンのひととき

マリンバ演奏者として活躍する岡本麻子さんと、ヴァイ
オリニストとして活躍する荒巻美沙子さんの二名による
デュオ。曲目は、「睡蓮のノクターン」、「Duo for Violin
and Marimba」、「無伴奏ヴァイオリンのためのパルティエ
タ第3番BWV1006よりPreludio」ほか計6曲。

日 時 9月19日(月・祝) 14:00～15:30

会 場 第7展示室

参加者数 282名

5 博学連携事業

貸出用学習キット

県内の学校や社会教育施設を対象に、当館が所蔵しているアートカード、複製画、日本画素材BOXの三種類の学習支援キットの貸出を行った

- ①アートカードの貸出：小学校4件、中学校1件
- ②複製画の貸出：小学校1件、中学校1件、社会教育施設2件

なお、今年度は新しい貸出用学習キットである「バーチャル展覧会キット」を、千葉工業大学工学部デザイン科学科の松崎研究室と共同開発し、運用方法については社会システム科学部プロジェクトマネジメント学科の加藤研究室と共同研究を行った。平成24年度も引き続き両研究室との連携を続行し、「バーチャル展覧会キット」のハード面の改善と運用方法を研究していく。

出張鑑賞教室

当館の職員が学校に赴き、相手校教諭と一緒に授業を行った。

- ①複製画を使用したプログラム：小学校5件、中学校3件
高校1件
- ②日本画素材BOXを使用したプログラム：中学校1件
- ③その他のプログラム：中学校11件

連携モデル校事業

本年度は、千葉市立磯辺第一中学校と連携モデル校事業を実施した。内容は、千葉市美浜区で開催されたアートプロジェクト「創造海岸アート祭2011 美浜誰でもアーティスト」に参加し、全校生徒250人が制作した等身大の全身壁画作品と、船の巨大オブジェをインスタレーション作品にして第6展示室に展示した。また、会期中に美術部員によるギャラリートークも実施した。

部活動・クラブ向けの取り組み

ワークショップ「等身大から始めよう～基地をつくる～」

千葉大学教育学部加藤研究室と連携し、県内中学校美術部を対象としたワークショップを開催した。

日 時 11月12日（土）10：00～15：00

会 場 中庭

内 容 間伐材とシュロ縄を用いて巨大オブジェを制作した。制作した作品は約1ヶ月間中庭に展示、12月には、夕方から作品のライトアップも行った。

参 加 校 千葉市立磯辺第一中学校、千葉市立幸町第二中

学校、千葉市立椿森中学校、成田市立成田中学校（4校29名）

学芸員体験学習

中学生、高校生を対象に、キャリア教育の一環として学芸員の仕事を1日～2日かけて体験するプログラム。今年度は、中学生向けに15件、高校生向けに1件実施した。

美術館講座

幕張総合高等学校と連携し、4月から9月までの期間、土曜日、日曜日や夏季休業中を利用し本講座を実施した。講座は70時間（法定時数35週×2時間）の授業を美術館で行い、2単位を取得するシステムで、参加した4名が単位を取得した。

内容は、美術館の役割や学芸員の仕事を学び理解を深めるために、当館の所蔵作品の中から各自2点を選び、その作家・作品について調査研究した。

<美術館講座展覧会>

さらに、会場構成をして実物の作品を取扱って展覧会を開催した。展覧会会期中には、選定した作品について入館者の前で各自、ギャラリートークを行った。チラシ、パネル、キャプション等の制作も行い、実際の学芸員と同様の活動を体験した。また、普及活動としてワークショップで参加者に接する体験を行った。

会 期 9月24日～25日

会 場 第6展示室

来館者数 682名

高校生のための美術館セミナー

夏休み期間中の8月17日～18日の2日間、高校生に美術館の仕事を体験してもらうことを目的としてインターシップ（職業体験）・高校生のための美術館セミナーを開催した。参加者は5校の県立高校から参加した1年から3年までの9人。美術館の展示室で展覧会を開催するという内容で、協議して展示のテーマを決定し、複製画45点から展示作品を20余点に絞り、作品の取扱いを学びながら展示作業を行った。展示後、ギャラリートークの実践も経験した。

その他

上記以外にも、ケンビーおもしろ鑑賞教室として、来館した学校団体等を対象に鑑賞学習や創作体験を実施した。

6 地域連携事業

①「創造海岸アート祭2011 美浜だれでもアーティスト」

千葉市美浜区を中心に開催されたアートプロジェクト「創造海岸アート祭2011 美浜だれでもアーティスト」を、5つの組織と連携して共催した。

実施団体 NPO法人ちば地域再生リサーチ、アート・コミュニティ美浜、千葉市民ギャラリー・いなげ、千葉大学教育学部加藤研究室、千葉市立磯辺第一中学校

活動内容

市民スタジオ「記憶の美浜、そしていま 未来」

会 期 8月16日（火）～21日（日）

会 場 千葉市民ギャラリー・いなげ

来場者数 200名

美浜の中学生による展覧会「今の私から、なりたい未来の私へ」

会 期 9月6日（火）～11日（日）

会 場 千葉県立美術館第6展示室

来場者数 762名

市民参加ワークショップ「会話の地層」

会 期 9月6日（火）～18日（日）

会 場 千葉県立美術館第7展示室

来場者数 1,117名

アート・コミュニティ美浜「アトリエ展」

会 期 9月21日（水）～25日（日）

会 場 アート・コミュニティ美浜

来場者数 316名

市民参加ワークショップ「旗をつくる__住みたい国を考える」

会 期 11月20日（日）～27日（日）

会 場 千葉県立美術館中庭

参加者数 68名

創造海岸アート祭2011活動記録展「個のアートから、まちと未来へ」

会 期 11月22日（火）～27日（日）

会 場 千葉県立美術館第7展示室

来場者数 842名

② 東日本大震災における支援活動

被災地からの避難者向けワークショップの実施

福島県を中心に、被災地から千葉市内に避難してきた子ども達を対象に、千葉市美術館と協力してワークショップを実施した。

日 時 平成23年4月9日（土）13:00～15:00

会 場 千葉市サイクル会館

参加者数 30名

内 容 オリジナルカンパジの制作と、ビルダーカード遊びを行った

義援金の送付

東日本大震災記録写真展の会場に募金箱を設置し、会期中の6日間で集まった82,962円を日本赤十字社に送付した。



7 活動協力など

① 千葉県立美術館友の会

目 的

“みる・かたる・つくる”という美術館活動に積極的に協力し、楽しい雰囲気の中で教養を豊かにし、美術文化の向上を図り、会員相互の親睦を深める。

組 織

- (1) 会員数 個人会員375人
- (2) 役員 会長1人 副会長3人 監事2人 理事若干名

事 業

- (1) 友の会だより「しおさい」の発行（年4回）
- (2) 第36回葉美会展の開催
会期 平成23年8月23日（火）～8月28日（日）
出品者55人 展示点数99点
- (3) 秋の美術鑑賞の旅 茨城県笠間市の美術館めぐり
期日 平成23年10月20日（木）
場所 笠間日動美術館・茨城県陶芸美術館・春風萬里荘・田中嘉三記念館
参加者数 40人
- (4) 館事業への協力
ミュージアムグッズの販売、実技講座の開催等、県民アトリエ事業に積極的に参加した。

平成23年度友の会実技講座

洋画講座1	5月10日（火）～5月12日（木） 5月25日（水）～5月27日（金）（6日間） 講師 竹久秀樹 受講者 32名
洋画講座2	6月16日（木）～6月18日（土）（3日間） 講師 根岸茂行 受講者 29名
洋画講座3	7月5日（火）～7月7日（木） 7月12日（火）～7月14日（木）（6日間） 講師 竹久秀樹 受講者 30名
洋画講座4	7月26日（火）28日（木）30日（土）（3日間） 講師 根岸茂行 受講者 28名
洋画講座5	8月3日（水）～8月5日（金） 8月17日（水）～8月19日（金）（6日間） 講師 池田敏男 受講者 21名
洋画講座6	11月22日（火）24日（木）25日（金） 11月29日（火）～12月1日（木）（6日間） 講師 濱田 清 受講者 33名
洋画講座7	12月7日（水）～12月9日（金） 12月14日（水）～12月16日（金）（6日間） 講師 羽生智樹 受講者 28名
洋画講座8	1月17日（火）～1月19日（木）

	1月24日（火）～1月26日（木）（6日間） 講師 竹久秀樹 受講者 24名
洋画講座9	2月29日（水）～3月2日（金） 3月7日（水）～3月9日（金）（6日間） 講師 羽生智樹 受講者 32名
水彩画講座1	6月1日（水）～6月3日（金） 6月8日（水）～6月10日（金）（6日間） 講師 青柳光枝 受講者 22名
水彩画講座2	2月16日（木）～2月18日（土）（3日間） 講師 青柳光枝 受講者 19名
日本画講座	11月10日（木）～11月12日（土） 11月17日（木）～11月19日（土）（6日間） 講師 中村寛治 受講者 11名

② ボランティア

情報資料室ボランティア

美術館の活動をより円滑で充実したものとするため、情報資料室ボランティアを募集し、14名が登録された。活動は、情報資料室のレファレンスを中心として、広報印刷物発送の補助、図録等の整理など美術館活動をいろいろな側面から補助した。

ワークショップサポーター

ワークショップの企画及び準備の補助、ワークショップ当日のスタッフとしてボランティアを募集し、17名が登録され活動した。

③ 情報資料室

原則として、開館日の13時～16時に開室し、美術情報資料（図書、雑誌、図録等）の利用に供した。夏季の電力不足に対応した臨時閉室期間があったため、開室日数は236日、利用者は401名であった。また各地の展覧会やイベントについて、資料室前のロビー等でポスター、チラシ、案内状、雑誌等により美術情報を提供した。

なお、平成23年度中に、美術関係図書を中心に80冊の寄贈を受け、美術情報資料の充実を図った。

平成23年度受贈図書	美術総記	28冊
	絵画	31冊
	彫刻	6冊
	工芸	4冊
	版画	3冊
	デザイン・建築	3冊
	写真・映像	2冊
	一般図書	3冊
	合計	80冊

平成23年度末収蔵図書数 6,473冊

■ 調査・収集事業 ■

1 平成23年度貸出資料一覧

作家名	作品名	展覧会名	会場・会期（貸出期間）	申請者（貸出先）
高村光太郎	薄命児男子頭部 手 十和田裸婦座像のための手 十和田裸婦座像のための中 型試作 裸婦座像 大倉喜八郎の首	第 72 回企画展 『『智恵子抄』という詩集』	群馬県立土屋文明記念文学館 23.4.23 ～ 6.16	群馬県立土屋文明記念文学館
藤田喬平	飾宮・しだれ桜 流動三彩 流動・牡丹	「藤田喬平・藤田潤一色ガラスの美」展	黄金崎クリスタルパーク・ガ ラスミュージアム 23.5.21 ～ 9.29	黄金崎クリスタルパーク・ガ ラスミュージアム
東山魁夷	春雪 秋深	「東山魁夷 杉山寧 高山辰雄 日本画の巨匠三 山」展	富山県立近代美術館 23.9.3 ～ 10.16	富山県立近代美術館
浅井忠	フォンテンブローの夕景	美の軌跡—デューラーから中村舜まで 前川誠郎 の美学	新潟県立近代美術館 23.9.3 ～ 10.10	新潟県立近代美術館
コロー	ナポリ近郊の思い出			
岸田劉生	霽れたる冬之日	生誕 120 周年記念 岸田劉生展	大阪市立美術館 23.9.17 ～ 11.23	大阪市立美術館
和田英作	塚本靖肖像	小林千古と 1900 年パリ・パンテオン会	はつかいち美術ギャラリー 23.10.7 ～ 11.13	廿日市市文化振興事業団
宮之原謙	象嵌十字星結晶花挿 彩地盛蓮葉文壺	松戸の美術 100 年史	松戸市立博物館 23.10.8 ～ 11.27	松戸市教育委員会
石井武夫	DUMMY			
中西利雄	人物（婦人像 A） 曇り日の離宮と駅	昭和モダン 藤島武二と新制作初期会員たち展	神戸市立小磯記念美術館 23.10.15 ～ 24.1.9 川越市立美術館 24.1.28 ～ 3.20	神戸市立小磯記念美術館 川越市立美術館
椿 貞雄	横堀角次郎兄像 牡丹	開館 30 周年記念 渋谷ユートピア 1900-1945 —帝都のぞみ、武蔵野に棲む	渋谷区立松濤美術館 23.12.6 ～ 24.1.29	渋谷区立松濤美術館
後藤純男	山門雨後	後藤純男美術館開館 15 周年記念 画業 60 年 後藤純男展	そごう美術館 24.1.2 ～ 1.25	そごう美術館
顰 嘔	CLOUDS HEARTS INSECTS BIRDS ANGELES	顰 嘔 ふたたび虹のかなたに	東京都現代美術館 24.2.4 ～ 5.6	東京都現代美術館
浅井 忠	印旛沼 風景（1） 鍛冶橋 風景 風景（2） 沢入駅 平壤大同江煉光亭 貔子窩第二軍司令部 金州城壁上 金州城南門外 漁婦 狂女（付子規句） 古城（付子規句） フォンテンブローの夕景 農家 フォンテンブローの森 子規居士弄丹青	正岡子規と美術	横須賀美術館 24.2.11 ～ 4.15	横須賀美術館
フォンタネージ	牛を追う農婦 木立 池と樹木			

2 平成23年度新収蔵資料一覧

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	受入方法	寸法（縦×横）cm （高×巾×奥行）cm
1	櫻田久美	海に見える花畑	1992	キャンバス・油彩	寄附	128.5 × 192.0
2	富田通雄	洗足風景	1930 頃	紙・水彩	寄附	43.6 × 57.8
3		銀座展望	1952	紙・水彩	寄附	73.7 × 54.6
4		画室	1953	紙・水彩	寄附	95.8 × 71.8
5		浴後	1958	紙・水彩	寄附	89.4 × 125.8
6		出を待つ踊り子たち	1978	紙・水彩	寄附	53.6 × 73.5
7	古川 弘	夏園少年	1949	紙・水彩	寄附	58.5 × 87.0
8		童女と雪	1950	紙・水彩	寄附	58.5 × 87.0
9	佐治賢使	さやか	1985	漆	寄附	125.0 × 56.2 × 31.5
10	藤田喬平	飾篁「夢殿」	不詳	ガラス	寄附	20.5 × 23.0 × 23.0
11	関主税	韻	1991	紙・着彩	寄附	90.0 × 63.5
12	石井康治	調	不詳	ガラス	寄附	43.0 × 29.5 × 29.5
13		北溪	不詳	ガラス	寄附	47.8 × 31.8 × 19.4

3 平成23年度 収蔵資料数一覧（平成24年3月31日現在）

《収蔵資料》				
受入方法	購 入	寄 付	保管替	合 計
日本画	128	179	26	333
洋画	355	541	41	937
彫刻	83	49	11	143
工芸	149	248	10	407
書	110	163	14	287
版画	175	106	5	286
合計	1,000	1,286	107	2,393
《研究資料》				
研究資料	243	1,320	54	1,617

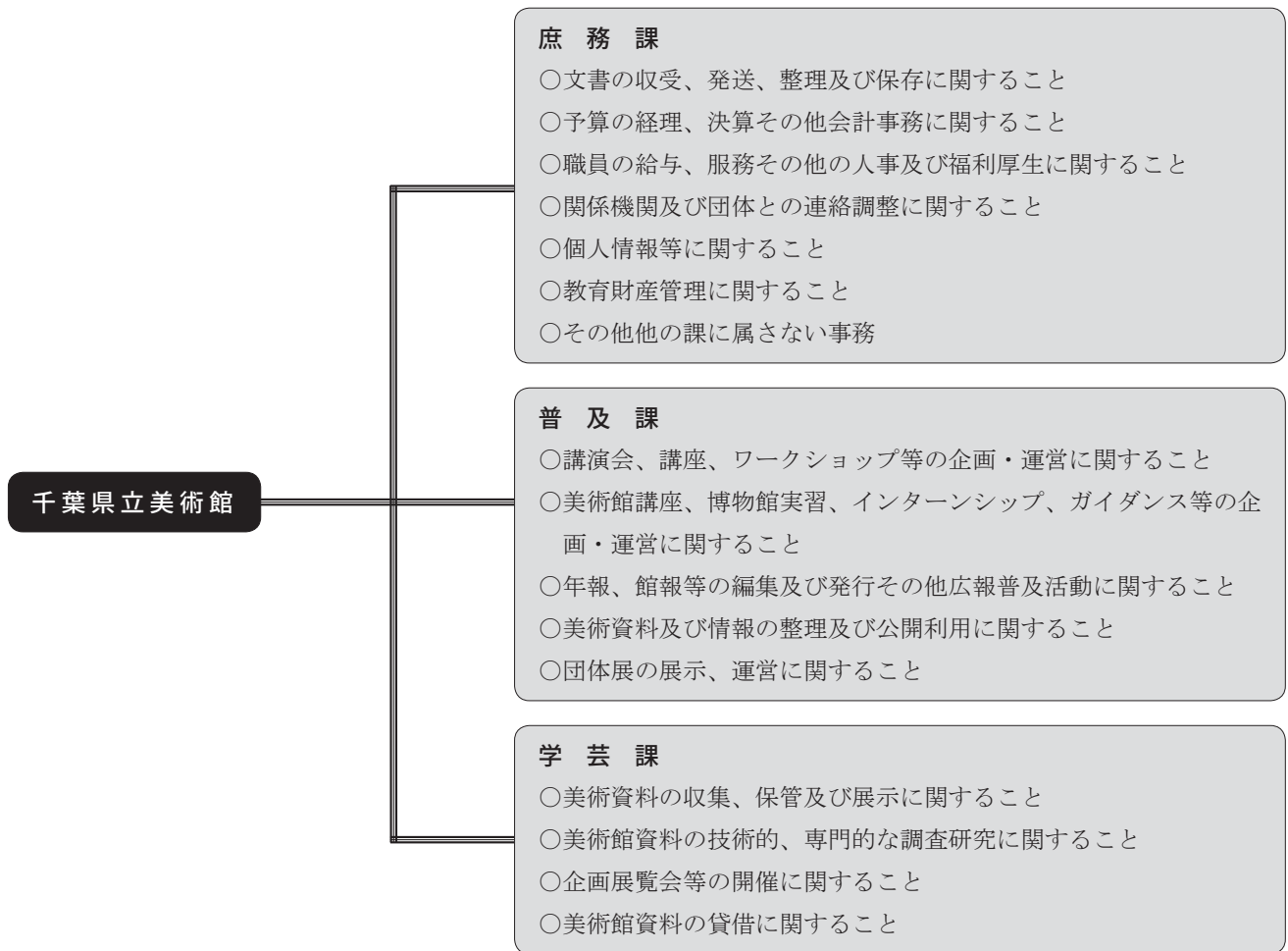
■ 管 理 運 営 ■

千葉県立美術館の使命

千葉県立美術館は、千葉県ゆかりの美術資料を中心として体系的に収集、保管して後世に継承するとともに、「みる、かたる、つくる」活動により新たな知見を創造し、美術情報を発信します。さらに、この美術活動をとおして、美術を愛する人材を育成し、県民の学習および地域づくりを支援します。

1. 調査・研究を基に、新たな美術資料の発見と価値を見出し、千葉県の美術・文化に関する資料を収集・保存して、後世に伝えます。
2. 美術資料や調査・研究の成果を知的資産として蓄積し、その情報を発信することによって県民と共有し、美術の振興と発展に寄与します。
3. 県民に専門性や体験を重視した生涯学習の機会を提供し、美術や文化を愛する人材を育成します。
4. 美術館は地域の核となって、美術をとおしてまちづくり、地域文化振興、地域おこし、といった地域づくりを支援します。

1 組 織



千葉県博物館協議会

- 教育機関設置条例第21条の2の規程により組織、運営している。
- 館運営の円滑化を図るため、館長の諮問機関として置かれ、学校教育、社会教育関係者並びに学識経験者の中から県教育委員会が任命している。

千葉県立美術館友の会

- 館の活動と提携し、展覧会・実技講座・美術鑑賞の旅の開催、会報の発行などを行っている。

2 平成23年度職員

館長 玉浦 洋子
副館長 石井 一正
副館長 森 尚登

庶務課 主査 高木 清彦
主査 岸部 俊哉
副主査 渡邊 なな
主任用務員 長島 則子

普及課 課長 渡邊 修一
上席研究員 相川 順子
上席研究員 荒井 喜代美
研究員 東 健一

学芸課 課長 金田 雅成
上席研究員 谷鹿 栄一
上席研究員 中松 れい
上席研究員 石崎 千津子
上席研究員 高山 順子

3 利用状況

平成23年度入館者一覧表

	開館日数	入場者計	個 人									
			計	有 料			無 料					
				計	一般	高・大生	計	一般	高・大生	小・中生	65歳以上	その他
4月	26	5,258	5,203	666	642	24	4,537	2,173	47	187	1,948	182
5月	26	12,532	12,512	1,558	1,501	57	10,954	4,965	82	873	4,451	583
6月	26	44,280	43,271	14,800	14,527	273	28,471	8,907	114	1,938	14,905	2,607
7月	27	40,763	40,083	12,420	12,057	363	27,663	13,106	46	2,032	10,581	1,898
8月	26	8,581	8,462	1,137	1,071	66	7,325	2,679	222	1,566	2,546	312
9月	26	9,351	9,289	827	791	36	8,462	3,742	350	972	3,094	304
10月	22	14,035	13,782	379	363	16	13,403	7,455	73	322	5,233	320
11月	25	13,603	13,232	202	197	5	13,030	6,863	554	597	4,724	292
12月	23	34,258	34,050	975	933	42	33,075	11,981	54	9,882	8,689	2,469
1月	23	7,508	7,339	1,416	1,370	46	5,923	2,600	59	246	2,740	278
2月	25	11,945	11,530	1,387	1,322	65	10,143	4,137	255	1,031	3,709	1,011
3月	27	6,071	6,002	619	596	23	5,383	2,396	50	573	2,051	313
計	302	208,185	204,755	36,386	35,370	1,016	168,369	71,004	1,906	20,219	64,671	10,569
	開館日数	入場者計	団 体									
			計	有 料			無 料					
				計	一般	高・大生	計	一般	高・大生	小・中生	65歳以上	その他
4月	26	55	38	38	0	17	0	0	0	17	0	2
5月	26	20	0	0	0	20	0	0	0	20	0	1
6月	26	1,009	102	102	0	907	133	0	133	289	352	29
7月	27	680	94	94	0	586	65	0	54	327	140	21
8月	26	119	0	0	0	119	17	0	43	59	0	4
9月	26	62	23	23	0	39	0	0	0	39	0	3
10月	22	253	15	15	0	238	57	0	0	181	0	9
11月	25	371	0	0	0	371	36	77	115	143	0	7
12月	23	208	29	29	0	179	5	0	50	124	0	6
1月	23	169	0	0	0	169	15	19	0	0	135	3
2月	25	415	10	10	0	405	28	0	77	26	274	6
3月	27	69	0	0	0	69	0	0	0	69		3
計	302	3,430	311	311	0	3,119	356	96	472	1,294	901	94

4 平成23年度団体展一覧

展覧会名	利用期間	展示内容	出品点数
1 第26回日本画四季展	3/29～4/10	日本画	71
2 第27回千葉県日本水彩展	4/5～4/10	水彩画	225
3 第25回千葉水彩展	4/19～4/24	水彩画	77
4 msb2011chiba37th展	4/26～5/1	日本画・洋画等	139
5 第38回千葉新協美術展	4/26～5/1	洋画・版画	198
6 第25回カラーダスト展	5/3～5/8	洋画	30
7 第37回歩会彫刻展	4/26～5/8	彫刻	38
8 第42回表美展	5/3～5/8	表装	51
9 東華書院展	5/3～5/8	書道	326
10 第35回墨の県展	5/10～5/15	水墨画	790
11 第51回千葉アマチュア美術会展	5/17～5/22	洋画・日本画・版画・書・彫刻・俳画・工芸等	994
12 第56回二科会千葉支部展	5/24～5/29	洋画	606
13 第37回獏展	5/24～5/29	絵画・立体・工芸・写真	44
14 第58回千葉県書道協会展	5/31～6/5	書道	469
15 第33回新槐樹社千葉県支部展	6/7～6/12	洋画・彫刻・版画等	44
16 第72回大日本書芸院展	6/7～6/12	書道	974
17 第14回千葉多摩美会展	6/14～6/19	洋画・日本画・デザイン・工芸等	65
18 第34回千葉一陽展	6/14～6/19	洋画	118
19 第20回玄鳥書院展	6/14～6/19	書道	38
20 第15回仲間達展	6/21～6/26	洋画・水彩画・版画・デッサン等	80
21 第39回水彩連盟千葉支部展	6/21～6/26	水彩画	150
22 第36回陽画会油絵展	6/21～6/26	洋画	78
23 第55回千葉県小中学校書写展	6/28～7/3	書道	800
24 第19回三軌会千葉支部展	6/28～7/3	絵画・写真	163
25 第22回千葉県木彫会展	6/28～7/3	彫刻	44
26 第43回千葉市水墨画同好会連合会展	7/5～7/18	水墨画	529
27 第43回習美会初夏大作展	7/20～7/24	洋画・日本画・デザイン	269
28 純銀粘土作品展	7/20～7/24	工芸	269
29 第56回千葉二紀展	7/26～7/31	洋画	92
30 第28回千葉県医師会美術展	7/26～7/31	油画等	94
31 第40回写真千葉県展	7/26～8/7	写真	306
32 第43回第一美術協会千葉県支部展	8/2～8/7	日本画・洋画・彫刻・工芸	136
33 平成23年度千葉県特別支援学校作品展	8/2～8/7	洋画・写真・書道・立体等	427
34 第21回太平洋美術会千葉支部展	8/9～8/14	洋画・水彩画・版画・彫刻・工芸	193
35 第45回漱雲会全国書道展	8/9～8/14	書道	390
36 第40回千葉硯心会書展	8/16～8/21	書道	52
37 第8回なの花書道展	8/16～8/21	書道	123
38 第41回いてふ会彫刻展	8/16～8/28	彫刻	54
39 第49回新世紀美術千葉支部展	8/23～8/28	洋画・水彩画・版画	46
40 第28回中央美術協会千葉支部展	8/23～8/28	洋画・水彩画・日本画・工芸	243
41 第36回葉美会展	8/23～8/28	洋画等	99

	展覧会名	利用期間	展示内容	出品点数
42	第51回白扇書道会展	8/30～9/4	書道	2,705
43	第8回日本春秋書院千葉書道団展	9/6～9/11	書道	197
44	千葉県高等学校第44回合同写真展	9/6～9/11	写真	859
45	第61回千葉デザイン展	9/13～9/25	デザイン	123
46	第58回千葉県勤労者美術展	9/13～9/19	日本画・洋画・書・写真	234
47	第34回千葉県写真展	9/13～9/25	写真	313
48	第41回新構造千葉支部展	9/21～9/25	洋画・写真・工芸	184
49	第34回等迦会千葉県支部展	9/27～10/2	洋画	29
50	第23回平和を願う美術展	9/27～10/2	洋画・日本画・写真・彫刻・工芸	258
51	二科会写真部第31回千葉支部展	9/27～10/2	写真	113
52	第22回千葉県教育芸術祭	10/4～10/10	日本画・洋画・工芸・書・写真等	712
53	第23回創造美術会千葉支部展	10/4～10/10	洋画・日本画・彫刻・工芸	74
54	第63回千葉県美術展覧会(県展)	10/15～11/6	洋画・日本画・工芸・彫刻・書道	2,739
55	平成23年度千葉県高等学校総合文化祭	11/9～11/20	日本画・洋画・彫刻・デザイン・写真・工芸・書道	2,931
56	第7回伝統工芸陶葉会展	11/22～11/27	工芸	80
57	第38回文化書道千葉県連合会展覧会	11/22～11/27	書道	312
58	第43回千葉現展	11/22～11/27	絵画・デザイン・工芸等	58
59	第56回こども県展(平成23年度千葉県児童生徒美術展覧会)	11/29～12/11	水彩画・版画など	9,471
60	第59回書星展	12/13～12/18	書道	759
61	第2回ハングル書道・韓国伝統文化展	12/20～12/25	書道	134
62	第39回富士百景写真展	1/5～1/9	写真	100
63	第47回登龍社書初展	1/5～1/9	書道	221
64	第39回千葉日報書道展	1/17～1/22	書道	518
65	第12回東方国際美術展	1/24～1/29	水墨画・書	200
66	第11回陶友会合同作品展	1/31～2/5	陶芸	278
67	第37回子ども造形展	1/31～2/5	洋画・彫刻・デザイン・工芸	1,500
68	千葉大学教育学部美術・図工科卒業制作展	2/7～2/12	洋画・彫刻等	20
69	千葉大学教育学部第46回学生書道展	2/7～2/12	書道	106
70	第64回千葉県小中高校書初展	2/7～2/12	書道	399
71	第30回群鳴書人展	2/14～2/19	書道	37
72	第23回日本童謡の書展	2/14～2/19	書道	1,929
73	平成23年度了徳寺大学芸術学部卒業制作展	2/21～2/26	日本画・洋画・書・立体等	41
74	第37回千葉県民写真展	2/21～2/26	写真	634
75	第41回千葉県大学美術連盟展	3/6～3/11	洋画・立体	89
78	第15回平成美術会展	3/6～3/11	洋画	173
79	第9回パッチワークキルト展	3/6～3/11	工芸	155
80	第17回翔洋展	3/13～3/18	洋画	33
81	第7回千葉水墨画展	3/13～3/18	水墨画	202
82	第35回唱和会書展	3/20～3/25	書道	41
83	第59回書星教育部展	3/20～3/25	書道	1,019
84	ダネラ展	3/20～3/25	デザイン	40
85	幕張総合高校書道展	3/27～4/1	書道	96

5 施 設

この建物は、幾つかの建設候補地の中から、千葉港に隣接した臨海埋立地の一角に計画された。計画着手当時はこの付近は訪れる人も少なく、海を通して石油基地のタンク群や工場と煙を吐き出す煙突が望める環境であった。

このような当初の環境下で、空気汚染、降下煤塵そして塩害など、建物に与える悪影響が予測されるために、材料の選択、構法、空調計画等は十分な検討がなされた。以下、主な部分について記す。

外壁の打込みタイル・先積ブリック工法

従来の外壁をコンクリートで表現している建物とは異なり、珧器質タイルを型枠代にしてコンクリートを一体に打ち込む工法を用いた。

使用したタイルは従来の断面と異なり、コの字型の断面をしており、型枠にセットせずモルタルにて積み上げられるように見込み寸法を 5cm の厚みにしてある。

施工方法は、内型枠、配筋工程の次のタイルを積み 5 段毎に型枠のホームタイを通し、2,400mm 程度まで積み上げ単管にて固定する。この 2,400mm の高さは、設計段階での試作実験にて安全を確認した数値である。試作段階での支保工は、縦方向に角材を 400 ピッチに通し、横方向に単管を 480 ピッチに通し固定したが、施行時は、縦方向に単管を 480 ピッチに通して固定した。コンクリートの打設は、1.5m ～ 2.0m / h の速度を目標に行い、ポンプにて打設可能な程度までスランプを下げた。この工程を繰返しタイル壁面を構成していった。

タイル面の施工時の汚れ防止には、ふのりを塗布した。タイルの目地は積み上げる工程で仕上げられ、表面に表われない目地の空隙にコンクリートのノロが滲み込んでゆき、目地からの滲透水を防ぎ満足する状態に仕上がった。

屋根の天然スレート

前述のような環境のもとで、勾配屋根に適し、十分にもちこたえられる材料としては耐候性鋼等が考えられたが、調査の結果により天然スレートを使用した。

空調計画

計画当初より、良好とはいえない外部環境から美術品をいかに保護するかが、海浜に建つ美術館として、ひとつの重要なテーマだった。外気取入れは、内部に自動巻取りフィルター、中性能フィルター、脱臭フィルターの 3 種類の空気清浄フィルターを組んだ外気処理器を通して供給されている。

展示棟は CAV（定風量型）＋ VAV（可変風量型）方式により計画されている。わが国の美術館は、平常の館内利用者に対して特別展や団体展等のときに非常に利用者がふえて、発熱負荷の変動が大きくなる。VAV 方式は、こういった条件に対して非常に効果的であるといえる。

管理棟は、エネルギーの省力化にも役立つ VAV 方式を採用し、収蔵庫は、露点再熱制御方式により二つの条件の異なる収蔵庫を 2 台の空調機で空調されている。

照明計画

展示壁面は、自然光源と人工光源とにより全体計画されている。

自然光源は展示棟の高窓から取り入れられ、外部の溝型ガラスと内部の紫外線吸収の亚克力拡散板を経て壁面に達する。しかし、太陽直射光の鉛直面照度は 8 時から 15 時の間で 10% の時間が 80,000lx 以上、30% の時間が 50,000lx 以上、50% の時間が 25,000lx（平均）以上、90% の時間が 5,000lx 以上という測定値があり、また水平面照度にしても 50,000lx（薄暗）から 5,000lx（曇天）の範囲と非常に明るい。このように必要以上に明るい光源は、調光通路内に設けられた 2 枚の電動スクリーン（これは、計算値により鉛直面照度 60,000lx 以上の条件のとき必要な枚数で、それぞれ異なった透過率を有する布を使用した）にて基準の壁面照度になるよう調光される。

計算値による通過率をもつクロスでの何回かの現場実験の結果、クロスは白地のポリエステル（通過率 53.6%）と黒地のジョーゼット（通過率 35%）の 2 枚を採用した。ここで留意すべき点は、クロスの遮光性能を良くするために、厚地の布や、コーティングされた布を使用すると壁面に色がつくことがある。壁面の照度分布の状態は、視覚的に均一な壁面が確保できた。

曇天・雨天に対しては、蛍光灯と白熱灯を補助照明として設置した。蛍光灯と白熱灯を併用したのは、演色性を高めるためである。

第 1、2 展示室は、すべて蛍光灯と白熱灯による人工光源で計画されている。壁面照度は、最高 200lx に押えてある。

固定ケースは基準照度を 180lx に設定した。照明方法は、全面アルミルーバーの天井ふところに蛍光灯を 2 本並列させ、その間に白熱灯 2 個を配置した。

〈設計及び工事監理者〉

大高建築設計事務所

〈施工者〉

建築：（株）竹中工務店

設備：空調＝東洋熱工業（株）

衛生＝第一管工事（株）

電気＝関東電気工事（株）

備品：天童木工、山口木工、佐々木ブラインド

〈都市計画地域指定〉

用途地域：準工業地域

〈規模・面積〉

敷地面積	33,057.87 m ²
建築面積	8,777.94 m ²
延床面積	10,663.57 m ²
展示棟	6,343.02 m ²
管理棟	2,818.89 m ²
県民アトリエ棟	1,501.66 m ²
駐車台数	96 台

〈工期及び建設経費〉

- (1) 第1期工事（展示棟）5,194.59 m²
 （建築面積 5,102.35 m²）

○工 期 昭和47年9月20日～昭和49年3月31日

工事費 775,967 千円

本体工事	425,230 千円
電気設備工事	79,663 千円
空調設備工事	166,493 千円
給排水衛生設備工事	28,995 千円
外溝工事	67,705 千円
ガス工事	7,881 千円

- (2) 第2期工事（管理棟） 2,274.60 m²
 （建築面積 1,089.50 m²）

○工 期 昭和50年3月1日～昭和51年2月20日

工事費 453,800 千円

本体工事	307,500 千円
電気設備工事	30,000 千円
空調設備工事	79,000 千円
給排水衛生設備工事	19,514 千円
外溝工事	17,786 千円

- (3) 第3期工事（県民アトリエ）1,501.66 m²
 （建築面積 1,449.34 m²）

○工 期 昭和54年3月22日～昭和55年2月29日

工事費 370,000 千円

本体工事	265,300 千円
電気設備工事	35,000 千円
空調設備工事	56,200 千円
給排水衛生設備工事	13,500 千円

○工 期 昭和55年12月25日～昭和56年3月24日

工事費 8,000 千円

外構工事 8,000 千円

- (4) 第4期工事（第8展示室 1,148.43 m²
 収蔵庫 544.29 m²）1,692.72 m²
 （建築面積 1,136.75 m²）

○工 期 昭和62年7月11日～昭和63年8月31日

工事費 747,500 千円

本体工事	476,000 千円
電気設備工事	81,000 千円
空調設備工事	171,000 千円
給排水衛生設備工事	19,500 千円
総工事費	2,355,267 千円

工期別面積一覧

区分	地階	1 階	2 階	塔屋	合計
第1期	325.04	4,750.79	61.00	57.76	5,194.59
第2期	—	1,185.10	1,089.50	—	2,274.60
第3期	—	1,403.15	98.51	—	1,501.66
第4期	15.46	1,132.97	544.29	—	1,692.72
合 計	340.50	8,472.01	1,793.30	57.76	10,663.57

〈概要〉

建物

【階数】

地下1階、地上2階、塔屋1階建

【高さ】

基礎底：GL－5.00m

高 さ：GL＋15.20m

【構造】

主体構造：鉄筋コンクリート造

屋 根：鉄骨造

主 鋼 材：SS41 及び高張力鋼

コンクリートの種類

A 種・普通コンクリート（基礎・地中梁・1階スラブ）

$F_c = 210\text{kg}/\text{cm}^2$

B 種・軽量コンクリート（梁・スラブ用・地上部）

$F_c = 300\text{kg}/\text{cm}^2$

C 種・軽量コンクリート（地上部躯体でAB以外の梁・壁など） $F_c = 240\text{kg}/\text{cm}^2$

〈設備〉

【電気設備】

受電方式：交流3相3線式6,000V 50Hz

電話交換方式：64回線デジタル交換機方式

【空調設備】

展示棟＝CAV（定風量型）＋VAV（可変風量型）方式

管理棟＝VAV方式

保管庫＝露点再熱制御方式

県民アトリエ棟＝各室ハンドリング方式

熱 源：空気熱源スクリーン熱回収ヒートポンプ方式

【衛生設備】

給 水：ポンプ圧送方式、引込み管径75mm

排 水：汚水・雑排水合流方式系統（管径300）、雨水系統（管径300）別、公設本管へ放流

【防災設備】

排煙方式：自然排煙、機械排煙（第1、2、7展示室）

消火方式：屋外・屋内消火栓、不燃性ガス消火設備（ハロゲン1301）

自家発電：ディーゼル機関直結交流発電機、定格出力100kVA

火災報知設備：P型1級自動火災報知設備

【その他の設備】

防犯設備：ITVカメラ設備、防犯警報装置

昇降機設備：荷物用エレベーター

規 模：容量3,000kg

カゴ内法＝3,000mm×3,000mm×3,000mm

速度30m/min

展示棟

玄関ホール	102.40㎡
クローク	91.80㎡
倉庫A	2.70㎡
倉庫B	2.70㎡
第1展示室	437.76㎡
第2展示室	400.32㎡
第3展示室	469.08㎡
第4展示室	403.20㎡
第5展示室	824.19㎡
第6展示室	330.58㎡
第7展示室	566.56㎡
第8展示室	864.61㎡
食堂	119.52㎡
厨房	36.00㎡
従業員控室	17.28㎡
食堂ホール	49.20㎡
ミュージアムショップ	12.00㎡
ロビー	335.52㎡
第1休憩室	23.04㎡
第2休憩室	23.04㎡
第3休憩室	23.04㎡
便所A	30.24㎡
便所B	23.76㎡
身障者用便所	7.92㎡
コントロール室	20.16㎡
フィルター室	28.92㎡
工作室	31.00㎡
発電気室	25.00㎡
電気室	123.20㎡
ポンプ室	76.80㎡
機械室	305.20㎡
機械室（新）	283.82㎡
高架水槽室	11.46㎡
E. V機械室	27.28㎡
E. V廻り	54.56㎡
ダクトスペース	35.68㎡
廊下等	123.48㎡

計 ① 6,343.02㎡

管理棟

(1階)	
第2会議室	22.62㎡
更衣室	14.38㎡
医務室	21.18㎡
書庫	22.02㎡
警備員室	43.59㎡
第1会議室	20.15㎡
倉庫	7.19㎡
湯沸室	5.19㎡
便所	24.54㎡
宿直室	34.20㎡
物置	9.92㎡
用務員室	31.83㎡
審査室・資料準備室・荷解室	520.68㎡
消毒室	31.79㎡
資料倉庫	124.25㎡
荷解梱包室	52.67㎡
荷扱入室	21.94㎡
機械室	51.74㎡
廊下等	123.97㎡

小 計 1,183.85㎡

(2階)	
館長室	33.27㎡
副館長室	23.42㎡
第1応接室	14.67㎡
第2応接室	14.55㎡
庶務課室	112.34㎡
会議室	43.84㎡
学芸課・普及課室	195.32㎡
学芸相談室	23.91㎡
研究工作室	216.49㎡
写真スタジオ	54.30㎡
器材室	6.74㎡
暗室	12.19㎡
第1収蔵室	184.40㎡
第2収蔵室	42.81㎡
第3・4収蔵室	544.29㎡
E. V前室	16.39㎡
便所	21.50㎡
湯沸室A	3.24㎡
〃 B	6.87㎡
廊下等	60.94㎡
ダクトスペースその他	3.56㎡

小 計 1,635.04㎡

計 ② 2,818.89㎡

県民アトリエ棟

1F 機械室	25.92㎡
講堂倉庫	8.64㎡
講堂	259.24㎡
コントロール室	30.33㎡
ホール側便所	29.97㎡
情報資料室	172.77㎡
情報資料室倉庫	4.70㎡
事務室	22.76㎡
研修室	74.70㎡
研修室倉庫	4.23㎡
第1アトリエ	155.70㎡
第2アトリエ	184.31㎡
第3アトリエ	95.47㎡
アトリエ側便所	20.77㎡
荷解室	25.65㎡
窯場	27.17㎡
窯場倉庫	6.66㎡
ホールその他	352.67㎡

計 ③ 1,501.66㎡

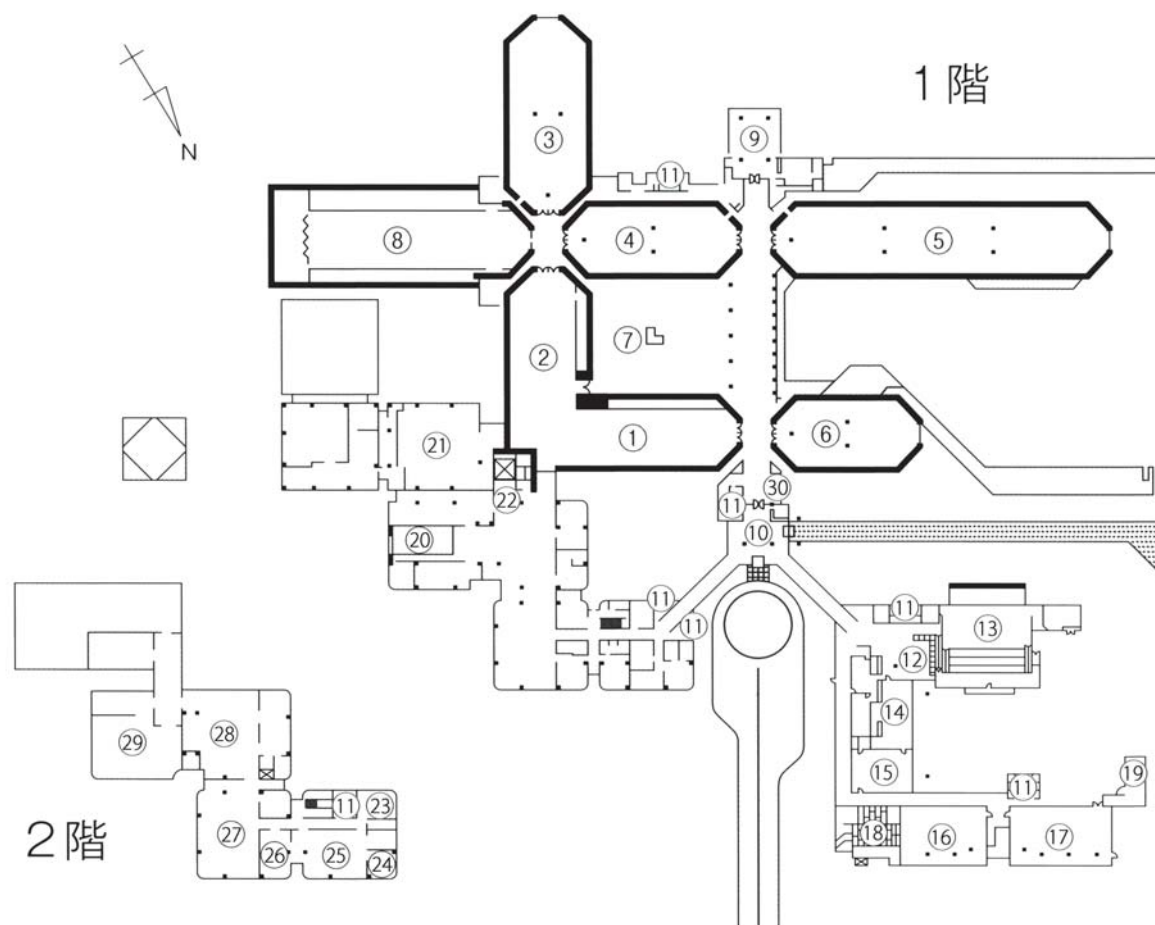
合 計 10,663.57㎡

(①+②+③)

〈参考〉

* 展示室総面積	4,296.30㎡
* 収蔵庫総面積	771.50㎡

施設平面図



- | | | | |
|-------|------------------------------------|----|------------|
| 1～8 | 展示室 | 19 | 窯場 |
| 9 | 食堂（44席） | 20 | 搬出入口 |
| 10 | 玄関ホール | 21 | 機械室 |
| 11 | トイレ 男子用 6ヶ所
女子用 6ヶ所
身障者用 2ヶ所 | 22 | エレベーター |
| 12 | ホール | 23 | 館長室 |
| 13 | 講堂（200人） | 24 | 副館長室 |
| 14 | 情報資料室 | 25 | 庶務課 |
| 15 | 研修室（40人） | 26 | 会議室 |
| 16～18 | 実技室 | 27 | 学芸課・普及課 |
| | | 28 | 研究工作室 |
| | | 29 | 収蔵庫 |
| | | 30 | ミュージアムショップ |

平成23年度利用案内

■開館時間

開館時間	午前 9 時から午後 4 時30分
休館日	月曜日（ただし、月曜日が祝日のときは開館し、翌日休館） 年末年始（12月28日～1月4日） 10月12日～14日、25・26日、11月8日

■入場料(※)内は20名以上の団体料金)

常設展	一般	300円(240円)
	高校・大学生	150円(120円)
	小・中学生	無料
	65歳以上	無料

「放浪の天才画家 山下 清展」

一般	800円(640円)
高校・大学生	400円(320円)
小・中学生	無料
65歳以上	無料

「関 主税展－夢幻世界を描き続けた日本画家－」

一般	500円(400円)
高校・大学生	250円(200円)
小・中学生	無料
65歳以上	無料

■交通

電車・モノレール

JR京葉線・千葉都市モノレール千葉みなと駅下車徒歩約10分

千葉駅からバス利用

千葉駅東口《12番のりば》

「千葉ポートタワー」行『美術館・中央郵便局』下車徒歩約2分（※本数少）

千葉駅東口《11番のりば》

「稲毛海岸駅」「幸町団地」「海浜病院」行（ポートアリーナ経由）『市役所中央署入口』下車徒歩約8分

千葉駅東口《5番のりば》「千葉みなとループバス」

「千葉中央警察署」下車徒歩約5分

自動車

東京方面から 東関東自動車道『湾岸習志野』I.Cから約20分

成田方面から 京葉道路『穴川』I.Cから約20分

東金方面から 千葉東金道路『千葉東』I.Cから約20分

館山方面から 京葉道路『松ヶ丘』I.Cから約20分

駐車場無料（96台利用可・うち2台は身体障害者用）

平成23年度 千葉県立美術館年報 (No.38)

平成24年12月25日発行

発行者 千葉県立美術館

〒260-0024 千葉市中央区中央港1丁目10番1号

Tel 043(242)8311

Fax 043(241)7880

URL <http://www.chiba-muse.or.jp/ART/>
